

令和 6 年 2 月 7 日  
子ども・若者部子ども家庭課

## 子どもの生活実態調査（高校生世代）の結果（速報版）について

### 1 主旨

令和 7 年度から令和 1 6 年度までを計画期間とする「子ども計画（第 3 期）」に内包する次期子どもの貧困対策計画の策定に向け、前回平成 3 0 年度に調査対象でなかった高校生世代の子どもの実態を把握し、重点的に取り組むべき施策を講じていくために、高校生世代の子どもと保護者に対するアンケート調査を行った。

については、アンケート調査結果（速報版）を下記のとおり報告する。

### 2 実施概要

#### (1) 主な調査項目

平成 3 0 年度に小学 5 年生及び中学 2 年生の子どもと保護者を対象に実施した際の調査項目および令和 4 年度に都立大と 3 区が実施した子どもの生活実態調査の調査項目を参考に作成。

子ども：子ども自身の状況、友人関係、学校・勉強、普段の生活、食事・健康、アルバイトなどの仕事、普段考えていること、公的支援の利用状況 等

保護者：保護者自身と世帯の状況、父母の職業、新型コロナウイルス感染症による家庭への影響、親子の健康、子どもの進路、子育てにかかる費用、家庭での生活、父母の成育歴、公的支援の利用状況 等

#### (2) 調査対象

令和 5 年度高校 2 年生世代のすべての子ども本人とその保護者

(子どもは平成 1 8 年 4 月 2 日から平成 1 9 年 4 月 1 日までの間に生まれた者で、令和 5 年 8 月 8 日時点で世田谷区に住民登録のある者。)

#### (3) 調査対象数

6, 8 7 5 世帯

#### (4) 抽出方法

住民基本台帳により、対象年齢層の者すべてを抽出

#### (5) 調査方法

各世帯に子ども用・保護者用の依頼文およびアンケートを郵送配布し、子ども・保護者それぞれ自記式にて任意回答の上、インターネットもしくは郵送で回収

#### (6) 調査期間

令和 5 年 9 月 1 日～1 0 月 2 日

#### (7) 有効回答数・率

	有効回答数	有効回収率
子ども	1, 6 1 1	2 3. 4 %
保護者	2, 1 2 1	3 0. 9 %
マッチングできた件数	1, 4 8 2	2 1. 6 %

## (8) 分析

同一世帯の子ども票と保護者票をひも付けし、単純集計、生活困難度、世帯タイプ（ひとり親、ふたり親等）それぞれに対するクロス集計による分析を行う。

## (9) 実施体制

調査実施・分析業務 (株) 富士通総研

調査設計・分析監修 阿部彩氏 (都立大学教授、子ども・若者貧困研究センターセンター長)

## 3 アンケート調査結果から見えた主な状況

- ・ 15. 4%の高校2年生世代の子どもが経済的な理由による生活困難（別紙1）を抱えており、食や学習、体験、人間関係、健康面等での影響を受けている。
- ・生活困難層ほど、新型コロナウイルス感染症拡大前よりも収入が減っている世帯が多い。
- ・生活困難層の保護者は、経済的な理由で自身に必要なものや機会が制約されていたり、保護者自身が子ども期に暴力を受けたり、育児放棄をされた経験がある等、困難を抱えている。

※詳細は別紙2のとおり

## 4 アンケート調査結果の概要（項目別）

別紙3のとおり

※子ども調査票は別紙4、保護者調査票は別紙5のとおり

## 5 子ども計画（第3期）策定に向けた主な施策検討について

本調査結果を踏まえ、高校生世代を対象とした学習支援や居場所、経済的負担の軽減、支援につながる仕組みづくり等を含め、総合的に検討する。

## 6 今後のスケジュール（予定）

令和6年 3月 調査結果報告書

4月以降 子ども計画（第3期）検討（子どもの貧困対策計画含む）

令和7年 4月 子ども計画（第3期）開始

## 1、生活困難度

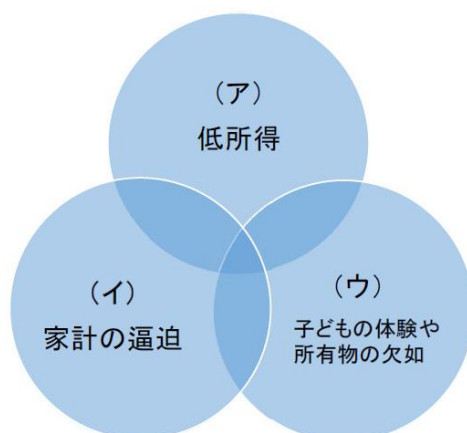
「生活困難度」は、貧困を測定する指標です。子どもの生活における困難を、①低所得に加え、剥奪指標（※）である②家計の逼迫、③子どもの体験や所有物の欠如の3つの要素から捉える。

※社会の中で生活に必要なモノやサービス、社会的活動が、経済的な理由で奪われている状態にあるかどうかによって貧困を測定する指標

(ア) 低所得	(イ) 家計の逼迫	(ウ) 子どもの体験や所有物の欠如
等価世帯所得（収入＋社会保障給付金） ÷√世帯人数が厚生労働省「令和4年国民 生活基礎調査」から算出される基準未満。 低所得基準： 所得中央値：423万円÷ √平均世帯人数（2.25人） ×50%=141.0万円 「国民生活基礎調査」の所得には、稼働所得、 公的年金・恩給、財産所得、社会保障給付金、 仕送り・企業年金・個人年金・その他の所得 が含まれる。税金・社会保険料などを含む。	以下の7項目のうち、経済的な理由 で剥奪されている項目が1つ以上。 1. 電話料金が支払えなかった 2. 電気料金が支払えなかった 3. ガス料金が支払えなかった 4. 水道料金が支払えなかった 5. 家賃が支払えなかった 6. 家族が必要な食料が買えな かった 7. 家族が必要な衣服が買えな かった	以下の15項目のうち、経済的な理由で剥奪されてい る項目が3つ以上。 1. 海水浴に行く 2. 博物館・科学館・美術館などに行く 3. キャンプやバーベキューに行く 4. スポーツ観戦や劇場に行く 5. 遊園地やテーマパークに行く 6. 毎月小遣いを渡す 7. 毎年新しい洋服・靴を買う 8. 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる 9. 学習塾に通わせる（または家庭教師にきてもらう） 10. お誕生日のお祝いをする 11. 1年に1回くらい家族旅行に行く 12. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる 13. 子どもの年齢に合った本 14. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ 15. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所

## 2、生活困難層について

(ア) 低所得、(イ) 家計の逼迫、(ウ) 子どもの体験や所有物の欠如の3つの要素のうち、2つ以上に該当する世帯を「困窮層」、いずれか1つに該当する世帯を「周辺層」、どれにも該当しない世帯を「一般層」と分類し、「困窮層」と「周辺層」を合わせた層を「生活困難層」とする。



生活困難層	困窮層	2つ以上の要素に該当
	周辺層	いずれか1つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない	

## 令和5年度子どもの生活実態調査（高校生世代アンケート）の結果から見えた主な状況

※子どもは、高校在籍の有無にかかわらず、令和5年8月8日時点で世田谷区内に住民登録のある者。  
※本調査結果では、学年別の単純集計と、生活困難度に対するクロス集計による分析を実施している。  
※対応する別紙3概要のページ数及び別紙4、5調査票の設問は記載のとおり。

### 1 生活困難の状況

#### 15. 4%の高校2年生世代が経済的な理由による生活困難を抱えている

- 高校2年生世代の子どものうち、5.6%が困窮層、9.8%が周辺層である。  
このことから、仮に令和5年4月1日時点で15～17歳の子どもにおいて生活困難層が15%いるとするならば、約3,100人の高校生世代子どもが生活困難層だと推定される。  
(概要P2・1-1)

#### 困窮層では5割の子どもが、周辺層では約7割の子どもがふたり親世帯に属している

- 困窮層では40.7%がふたり親（二世帯）世帯、9.3%がふたり親（三世帯）世帯に属しており、周辺層では56.7%がふたり親（二世帯）世帯、11.3%がふたり親（三世帯）世帯に属している。  
(概要P3・1-2)

### 2 家計の状況

#### 約16%の世帯が、家計が赤字で生活しており、その割合は生活困難度が上がるほど高くなる

- 困窮層の65.4%、周辺層の40.2%にて、家計が赤字であり、借金をしたり、貯蓄を取り崩したりして生活している。一方で、一般層の46.5%が黒字であり、毎月貯蓄をしている。  
(概要P5・2-1、保護者票・問30)

#### 困窮層、周辺層にて、約3割が新型コロナウイルス感染拡大前に比べ収入が減っている

- 新型コロナウイルス感染拡大前に比べ収入が減った割合は、一般層における母親の収入で11.2%、父親の収入で14.8%である。一方、その割合は困窮層になると母親の収入で29.0%、父親の収入で27.3%、周辺層になると母親の収入で28.9%、父親の収入で28.8%にもものぼる。  
(概要P6・2-2、概要P7・2-3、保護者票・問14-(1))

### 3 子どもの生活

#### 9割弱の子どもが平日にほぼ毎日3食食べるが、困窮層にてその割合は低い

- 平日にほぼ毎日3食食べる子どもの割合は、一般層においては87.6%だが、困窮層において74.5%である。  
(概要P9・3-1、子ども票・問18)

#### 生活困難層にて、様々な所有物・体験を「ほしい（したい）」と回答した割合が高い

- 「1年に1回の家族旅行（1泊以上）」については困窮層の52.7%、周辺層の34.0%が、「月5千円ほどの、自分で自由に使えるお金（お小遣い）」については困窮層の40.0%、周辺層の29.9%が、「自分の部屋」については困窮層の38.2%、周辺層の30.9%

が、「ほしい（したい）」と回答した。（一般層ではいずれの項目も1割前後）

※「(自宅で) インターネットにつながる環境」「スマートフォン」については、統計的に有意な差がない

(概要P 10～11・3-2、子ども票・問4)

#### 困窮層にて、子どもが就労している割合が高く、収入を「家計の足し」にしている割合が高い

- 「働いている（アルバイト・パートタイム・派遣・日雇い・正社員）」子どもの割合は、困窮層にて34.5%である。  
(概要P 12・3-3、子ども票・問22)
- 収入の使途として、全体では5割を超える子どもが「友達と遊ぶ費用」と回答する一方、困窮層では「家計の足し」と回答する割合が29.2%である。

(概要P 13・3-4、子ども票・問22-7)

## 4 子どもの学び

#### 1割強の子どもが学校の授業が「わからない」と回答し、その割合は困窮層で3割弱にのぼる

- 全体では13.1%の子どもが、学校授業が「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答し、困窮層ではその割合は27.2%にのぼる。

(概要P 15・4-1、子ども票・問8)

#### 困窮層、周辺層にて、学校の授業以外で勉強時間が短い傾向にある

- 全体では12.0%の子どもが、学校の授業以外で勉強を「まったくしない」と回答し、その割合は困窮層では29.1%、周辺層では17.5%にのぼる。

(概要P 16・4-2、子ども票・問9)

#### 5割の子どもが塾や予備校・家庭教師を利用しており、生活困難度が上がるほど、その利用頻度が低くなる傾向にある

- 全体では50.0%の子どもが、塾や予備校・家庭教師を利用しているが、困窮層では74.5%、周辺層では62.9%が利用していない。

(概要P 17・4-3、子ども票・問10)

#### 今後進学を希望する子どものうち、約9割の子どもが「進学する予定である」と回答し、「わからない」と回答した割合は困窮層にて高い

- 全体では90.6%の子どもが「進学する予定である」と回答したが、困窮層では28.3%が「わからない」と回答した。

(概要P 18・4-4、子ども票・問11-2)

#### 8割強の保護者が大学進学を期待するが、経済的に難しいと回答した割合は困窮層にて高い

- 子どもに4年制大学までの教育を「経済的に受けさせることができない」と回答した保護者の割合は、一般層では0.6%であるが、困窮層では32.7%にのぼる。

(概要P 19・4-5、保護者票・問21)

## 5 子どもの逆境体験

#### 困窮層、周辺層にて、様々な逆境体験のある子どもの割合が高い

- すべて項目で生活困難度別に有意な差があり、最も多くの回答者が「あった」と答えた項目

は、「両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」であった。

(概要P 2 1・5-1、子ども票・問26)

- 困窮層では、「一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる」「一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある」「一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある」ことが「あった」と回答した子どもが各項目に約1割いる。

(概要P 2 1・5-1、子ども票・問26)

## 6 子どもの健康

### 2割弱の子どもが抑うつ傾向(※)にあるが、困窮層、周辺層では3割弱にのぼる

- 全体では17.9%の子どもが抑うつ傾向にあるが、困窮層では27.3%、周辺層では26.8%にのぼる。

(概要P 2 3・6-1、子ども票・問25)

※抑うつ傾向を測るK6指標を用いて測定。K6は、過去30日間の心の状況(6項目)を数値化したもので、「気分・不安障害相当(9点以上)」を「抑うつ傾向あり」とする。

## 7 保護者の状況

### 1割強の母親が抑うつ傾向にあるが、生活困難度があがるほどその割合が高くなる

- 全体では13.5%の母親が抑うつ傾向にあるが、困窮層では38.5%、周辺層では28.9%にのぼる。

(概要P 2 5・7-1、保護者票・問18)

### 困窮層にて、保護者が様々な所有物・体験を「金銭的にない(できない)」と回答した割合が高い

- 困窮層にて「金銭的にない(できない)」と回答した割合は、「自分の趣味やレジャーのためのお金」については67.3%、「自分自身のために使うことができるお金(月5千円)」については56.4%、「古くなった服を買い替える」については50.9%にのぼる。

(概要P 2 6・7-2、保護者票・問19)

### 生活困難層の保護者は、成人する前に親から暴力を振るわれた経験、育児放棄をされた経験がある割合が高い

- 困窮層の保護者のうち、10.9%が成人する前に親から暴力を振るわれた経験があり、3.6%が成人する前に育児放棄をされた経験があった。(周辺層も同様の傾向)

(概要P 2 7・7-3、保護者票・問36)

## 8 制度・サービスの利用

### 【子ども】

### 「子ども食堂」「無料学習支援」の利用意向は、困窮層、周辺層の子どもにて高い傾向にある

- 困窮層の38.2%、周辺層の39.2%の子どもが「無料学習支援」を、困窮層の32.7%、周辺層の35.1%の子どもが「子ども食堂」を、「機会があれば利用したい」と回答している。(一般層では26.5%、23.9%)

(概要P 2 9・8-1、子ども票・問27)

約5割の子どもが使ってみたい場所やサービスとして「食料品が無料でもらえる場所」と回答し、その割合は困窮層、周辺層にて高い

- 子どもが「使ってみたい」「興味がある」と回答した場所やサービスとして、「食料品が無料でもらえる場所」を選択した割合が最も高く、全体では49.0%であり、困窮層では69.1%、周辺層の67.0%にのぼる。 (概要P30・8-2、子ども票・問28)

### 【保護者】

利用意向があったが、利用しなかった保護者の割合は、「高校生等奨学給付金（授業料以外の教育費支援）」において、最も高い。

- 「利用したかったが、条件を満たしていなかった」「利用時間や制度等が使いづらかった」「利用の仕方が分からなかった」と回答した保護者の割合は、「高校生等奨学給付金（授業料以外の教育費支援）」において最も高く、全体では41.6%、困窮層では45.5%が、周辺層では56.7%にのぼる。 (概要P31～32・8-3、保護者票・問38-（1）)

生活困難層は、相談経験のある保護者が多い傾向にあるが、相談意向があったが相談にいらなかった保護者の割合も高い傾向にある

- 全体的に、相談意向があったが相談にいらなかった保護者のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答する割合が、「相談したかったが、抵抗感があった」「相談時間や場所などが使いづらかった」と回答する割合よりも高い傾向にある。 (概要P33～34・8-4、保護者票・問39)

世田谷区  
令和5年度子どもの生活実態調査  
結果（速報版）

FUJITSU

株式会社富士通総研



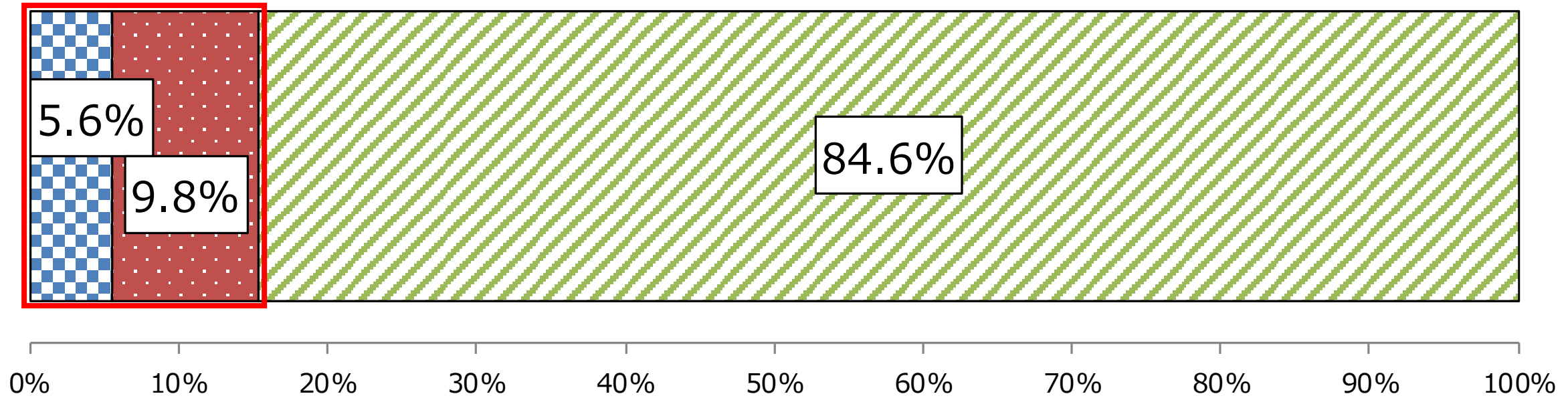
# 1 生活困難の状況

# 1-1. 世田谷区的生活困難層

✓ 15. 4%の高校2年生世代が経済的な理由による生活困難を抱えている

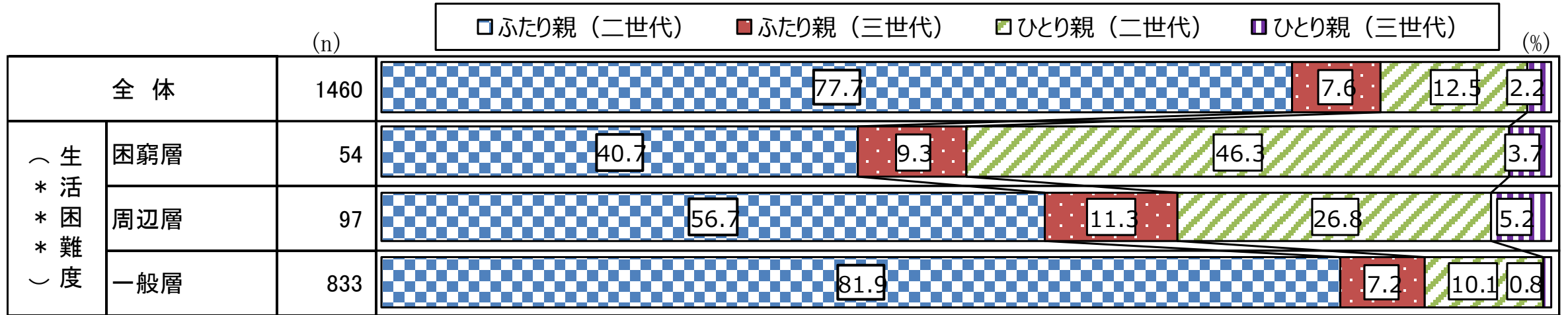
(n=990)

困窮層 周辺層 一般層



# 1-2. 生活困難層の子ども在世帯タイプ

✓ 困窮層では5割の子どもが、周辺層では約7割の子どもがふたり親世帯に属している

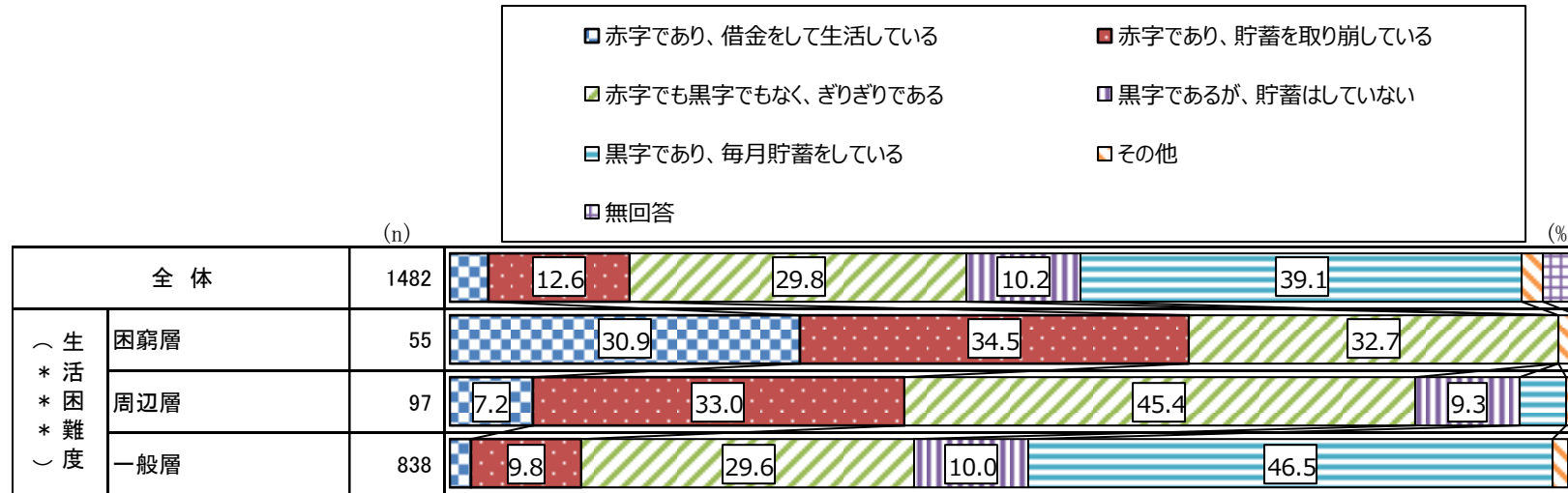


		該当数	ふたり親 (二世帯)	ふたり親 (三世帯)	ひとり親 (二世帯)	ひとり親 (三世帯)
全体		1460	77.7	7.6	12.5	2.2
生活困難度	困窮層	54	40.7	9.3	46.3	3.7
	周辺層	97	56.7	11.3	26.8	5.2
	一般層	833	81.9	7.2	10.1	0.8

## 2 家計の状況

## 2-1. 家計状況：生活困難度別

✓ 約16%の世帯が、家計が赤字で生活しており、その割合は生活困難度が上がるほど高くなる

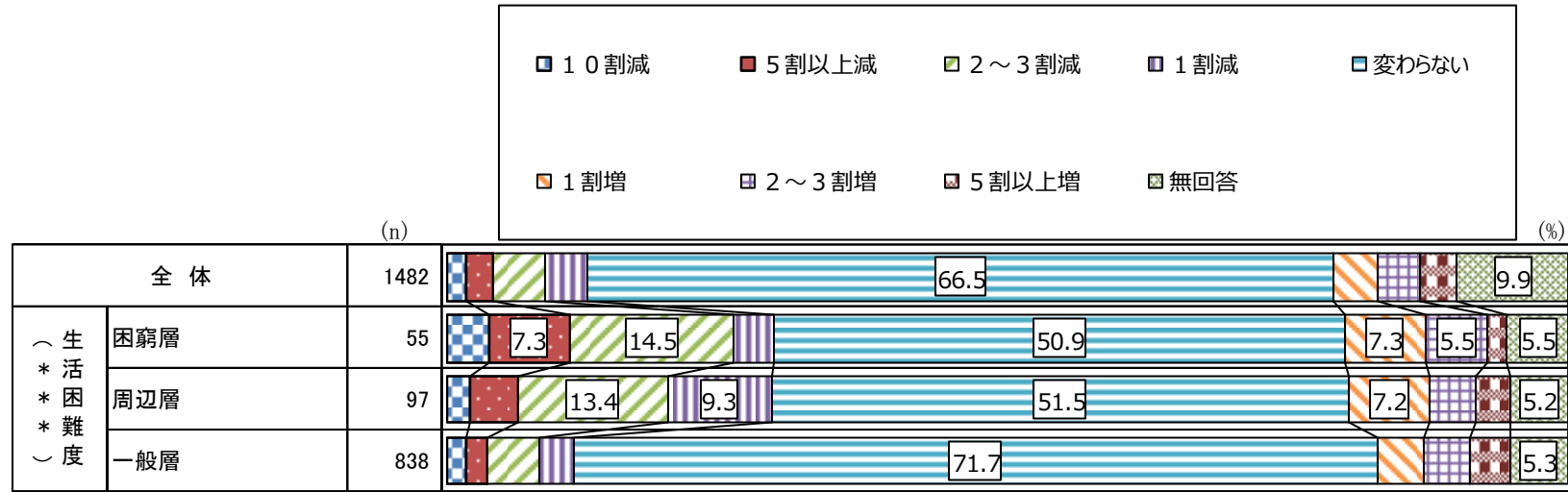


※5.0%未満は値を省略している

生活困難度	困窮層	周辺層	一般層
全体	1482	97	838
借金をして生活している	3.3	7.2	1.8
貯蓄を取り崩している	30.9	33.0	29.6
ぎりぎりである	34.5	45.4	10.0
黒字であるが、貯蓄はしていない	32.7	9.3	46.5
黒字であり、毎月貯蓄をしている	10.2	0.0	0.0
その他	39.1	0.0	0.0
無回答	1.8	1.0	0.8

## 2-2. 母親の収入の変化：生活困難度別

✓ 生活困難層の母親は、一般層と比較して新型コロナウイルス感染症拡大の影響により収入が減った割合が高い

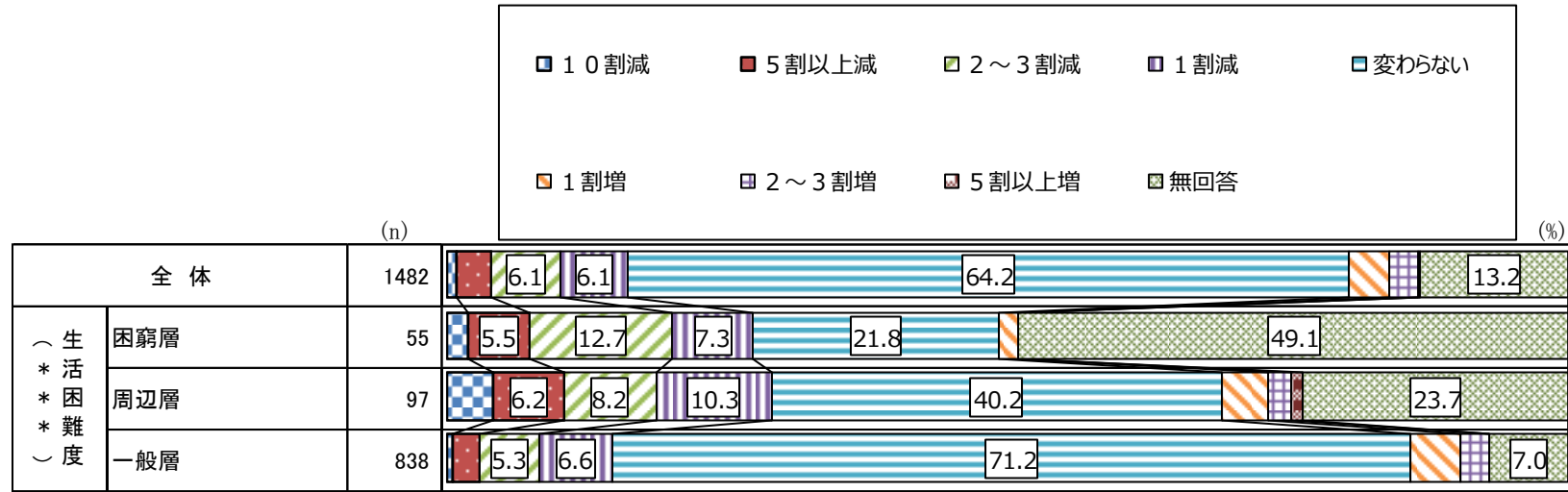


※5.0%未満は値を省略している

		該当数	10%減	5%以上減	2~3%減	1%減	変わらない	1%増	2~3%増	5%以上増	無回答
全体		1482	1.7	2.3	4.7	3.8	66.5	4.0	3.7	3.3	9.9
生活困難度	困窮層	55	3.6	7.3	14.5	3.6	50.9	7.3	5.5	1.8	5.5
	周辺層	97	2.1	4.1	13.4	9.3	51.5	7.2	4.1	3.1	5.2
	一般層	838	1.7	1.9	4.5	3.1	71.7	4.2	4.2	3.5	5.3

## 2-3. 父親の収入の変化：生活困難度別

✓ 生活困難層の父親は、一般層と比較して新型コロナウイルス感染症拡大の影響により収入が減った割合が高い



※5.0%未満は値を省略している

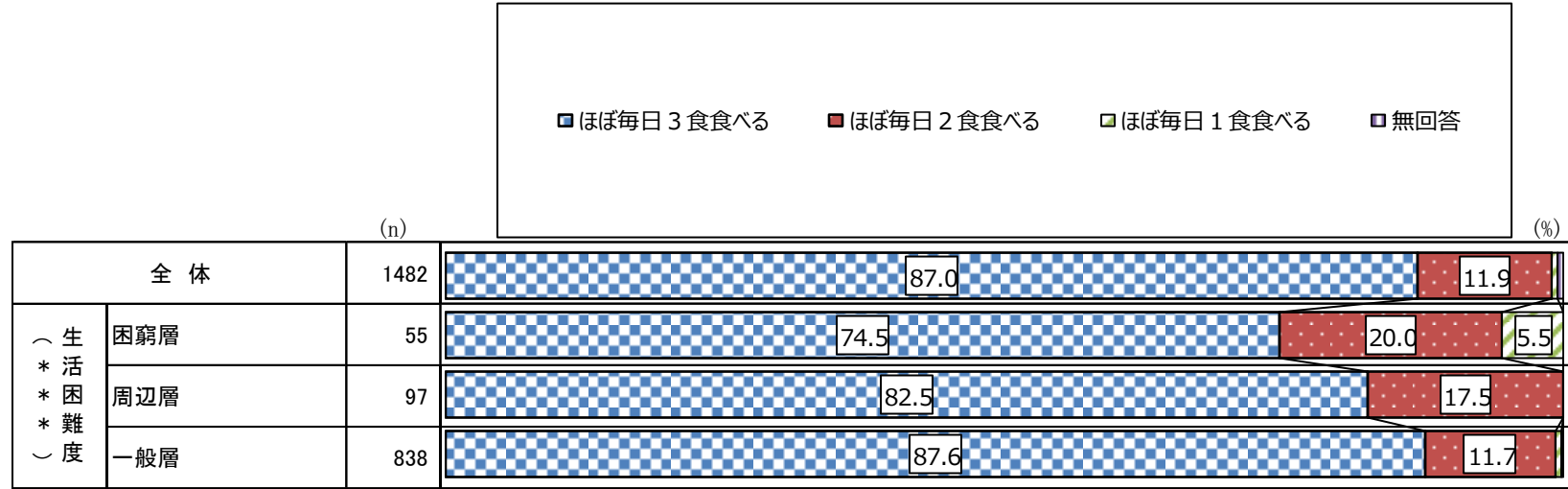
		該当数	10% 割減	5% 以上減	2~3% 割減	1% 割減	変わらない	1% 割増	2~3% 割増	5% 以上増	無回答
全体		1482	0.7	3.2	6.1	6.1	64.2	3.7	2.4	0.3	13.2
生活困難度	困窮層	55	1.8	5.5	12.7	7.3	21.8	1.8	0.0	0.0	49.1
	周辺層	97	4.1	6.2	8.2	10.3	40.2	4.1	2.1	1.0	23.7
	一般層	838	0.4	2.5	5.3	6.6	71.2	4.4	2.6	0.0	7.0

## 3 子どもの生活



# 3 - 1. 平日の食事回数：生活困難度別

✓ 9割弱の子どもが平日にほぼ毎日3食食べるが、困窮層にてその割合は低い

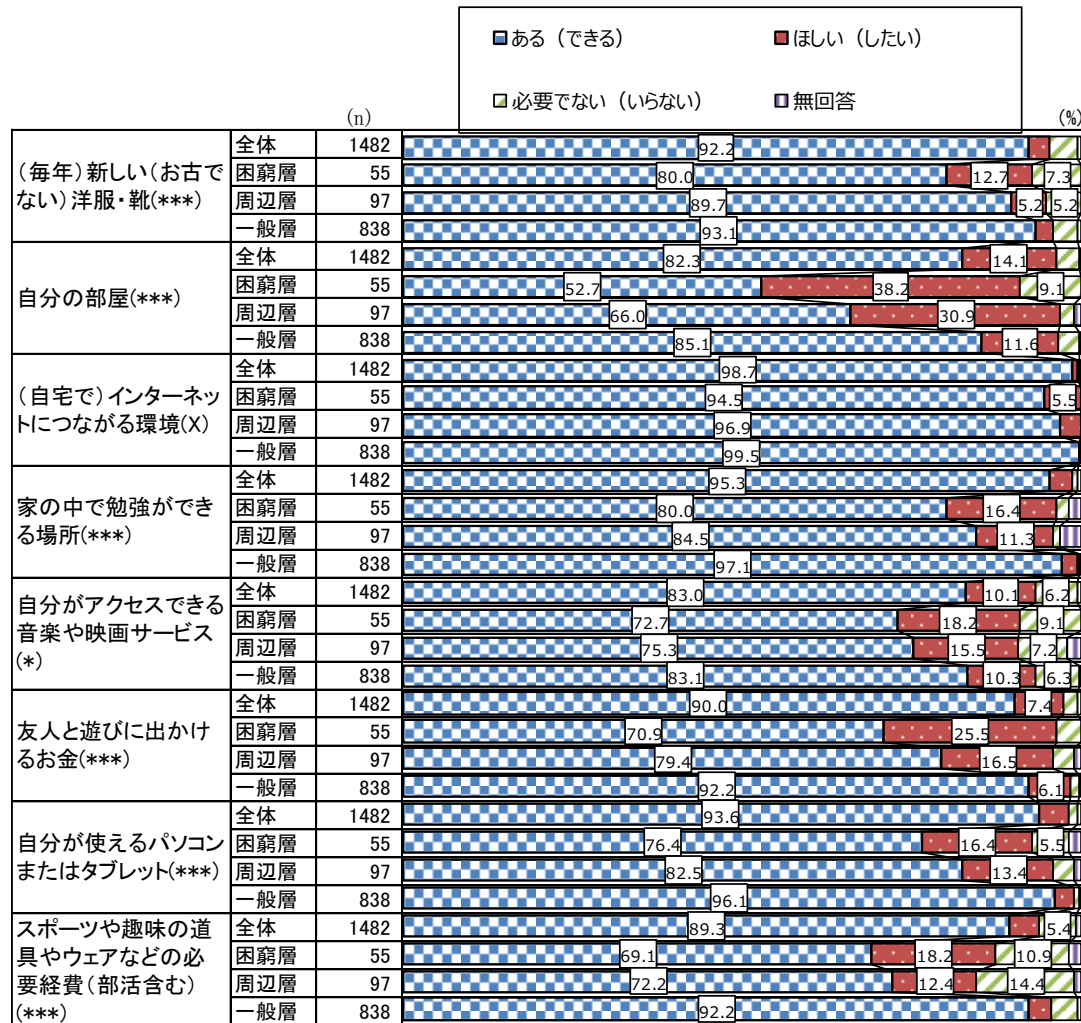


※5.0%未満は値を省略している

		該当数	ほぼ毎日3食食べる	ほぼ毎日2食食べる	ほぼ毎日1食食べる	無回答
全体		1482	87.0	11.9	0.6	0.5
生活困難度	困窮層	55	74.5	20.0	5.5	0.0
	周辺層	97	82.5	17.5	0.0	0.0
	一般層	838	87.6	11.7	0.5	0.2

# 3-2. 所有物・体験の状況：生活困難度別①

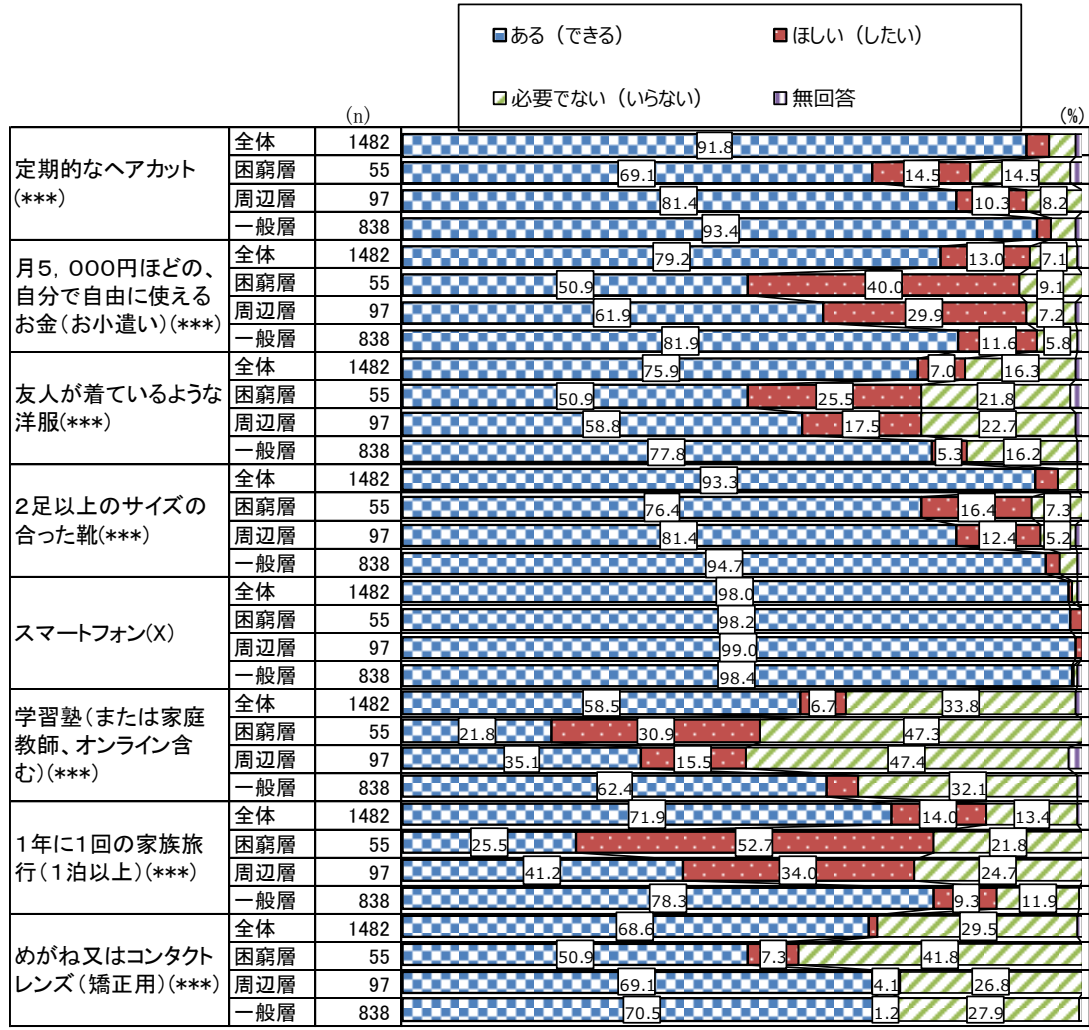
✓ 生活困難層にて、様々な所有物・体験を「ほしい（したい）」と回答した割合が高い



※5.0%以下は値を省略している

項目	層別	該当数	ある(できる)	ほしい(したい)	必要でない(いらない)	無回答
(毎年)新しい(お古でない)洋服・靴(***)	全体	1482	92.2	3.2	4.1	0.5
	困窮層	55	80.0	12.7	7.3	0.0
	周辺層	97	89.7	5.2	5.2	0.0
	一般層	838	93.1	2.6	3.6	0.7
自分の部屋(***)	全体	1482	82.3	14.1	3.2	0.5
	困窮層	55	52.7	38.2	9.1	0.0
	周辺層	97	66.0	30.9	2.1	1.0
	一般層	838	85.1	11.6	3.0	0.4
(自宅で)インターネットにつながる環境(X)	全体	1482	98.7	0.7	0.1	0.5
	困窮層	55	94.5	5.5	0.0	0.0
	周辺層	97	96.9	3.1	0.0	0.0
	一般層	838	99.5	0.1	0.0	0.4
家の中で勉強ができる場所(***)	全体	1482	95.3	3.3	0.7	0.7
	困窮層	55	80.0	16.4	1.8	1.8
	周辺層	97	84.5	11.3	1.0	3.1
	一般層	838	97.1	2.1	0.4	0.4
自分がアクセスできる音楽や映画サービス(*)	全体	1482	83.0	10.1	6.2	0.7
	困窮層	55	72.7	18.2	9.1	0.0
	周辺層	97	75.3	15.5	7.2	2.1
	一般層	838	83.1	10.3	6.3	0.4
友人と遊びに出かけるお金(***)	全体	1482	90.0	7.4	2.0	0.6
	困窮層	55	70.9	25.5	3.6	0.0
	周辺層	97	79.4	16.5	3.1	1.0
	一般層	838	92.2	6.1	1.2	0.5
自分が使えるパソコンまたはタブレット(***)	全体	1482	93.6	4.6	1.3	0.5
	困窮層	55	76.4	16.4	5.5	1.8
	周辺層	97	82.5	13.4	3.1	1.0
	一般層	838	96.1	2.9	0.7	0.4
スポーツや趣味の道具やウェアなどの必要経費(部活含む)(***)	全体	1482	89.3	4.5	5.4	0.8
	困窮層	55	69.1	18.2	10.9	1.8
	周辺層	97	72.2	12.4	14.4	1.0
	一般層	838	92.2	3.2	3.9	0.6

### 3-2. 所有物・体験の状況：生活困難度別②

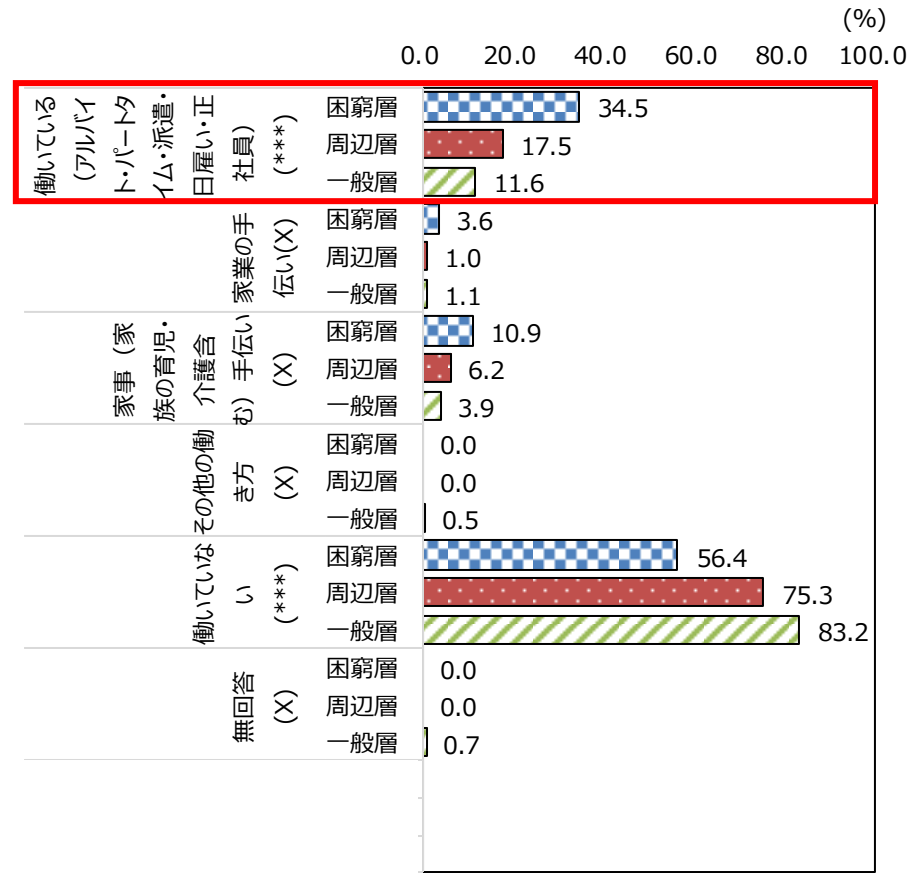


※5.0%以下は値を省略している

項目	層別	該当数	あり(できる)	ほしい(したい)	必要でない(いらない)	無回答
定期的なヘアカット (***)	全体	1482	91.8	3.3	4.0	0.8
	困窮層	55	69.1	14.5	14.5	1.8
	周辺層	97	81.4	10.3	8.2	0.0
	一般層	838	93.4	2.1	3.6	0.8
月5,000円ほどの、自分で自由に使えるお金(お小遣い) (***)	全体	1482	79.2	13.0	7.1	0.7
	困窮層	55	50.9	40.0	9.1	0.0
	周辺層	97	61.9	29.9	7.2	1.0
	一般層	838	81.9	11.6	5.8	0.7
友人が着ているような洋服 (***)	全体	1482	75.9	7.0	16.3	0.9
	困窮層	55	50.9	25.5	21.8	1.8
	周辺層	97	58.8	17.5	22.7	1.0
	一般層	838	77.8	5.3	16.2	0.7
2足以上のサイズの合った靴 (***)	全体	1482	93.3	3.3	2.8	0.6
	困窮層	55	76.4	16.4	7.3	0.0
	周辺層	97	81.4	12.4	5.2	1.0
	一般層	838	94.7	1.9	2.7	0.6
スマートフォン(X)	全体	1482	98.0	0.5	0.8	0.7
	困窮層	55	98.2	1.8	0.0	0.0
	周辺層	97	99.0	1.0	0.0	0.0
	一般層	838	98.4	0.4	0.6	0.6
学習塾(または家庭教師、オンライン含む) (***)	全体	1482	58.5	6.7	33.8	1.0
	困窮層	55	21.8	30.9	47.3	0.0
	周辺層	97	35.1	15.5	47.4	2.1
	一般層	838	62.4	4.8	32.1	0.7
1年に1回の家族旅行(1泊以上) (***)	全体	1482	71.9	14.0	13.4	0.7
	困窮層	55	25.5	52.7	21.8	0.0
	周辺層	97	41.2	34.0	24.7	0.0
	一般層	838	78.3	9.3	11.9	0.5
めがね又はコンタクトレンズ(矯正用) (***)	全体	1482	68.6	1.4	29.5	0.5
	困窮層	55	50.9	7.3	41.8	0.0
	周辺層	97	69.1	4.1	26.8	0.0
	一般層	838	70.5	1.2	27.9	0.4

# 3-3. 子どもの就労

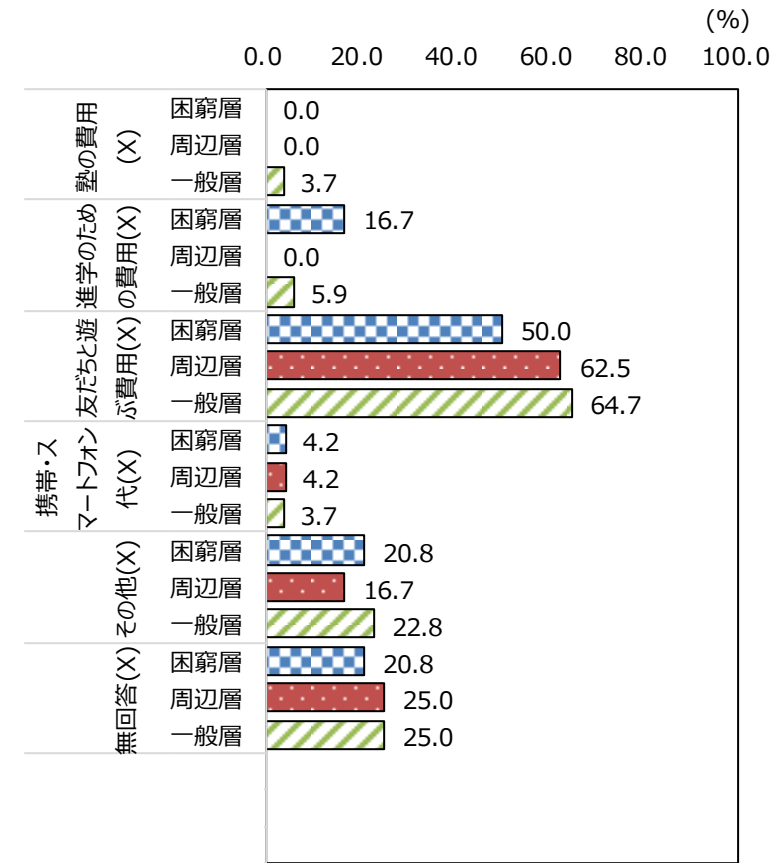
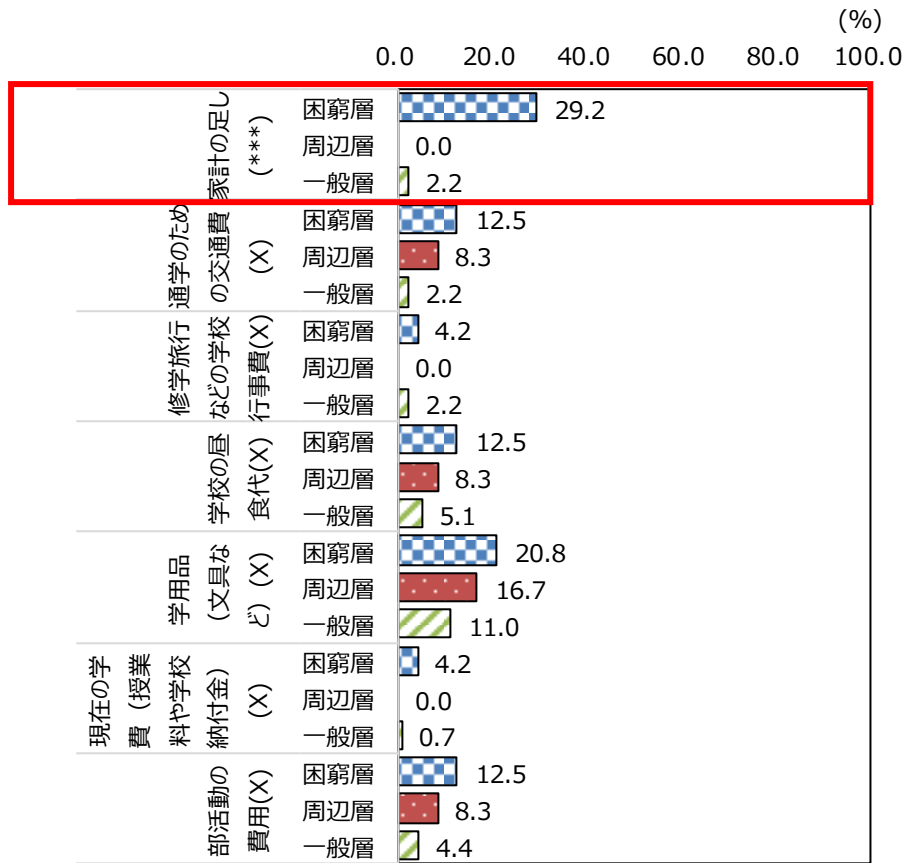
✓ 困窮層にて、就労している子どもの割合が高い



(n: 困窮層55人、周辺層97人、一般層838人)

# 3-4. 収入の使途：生活困難度別

✓ 困窮層にて、子どもが収入を「家計の足し」にしている割合が高い

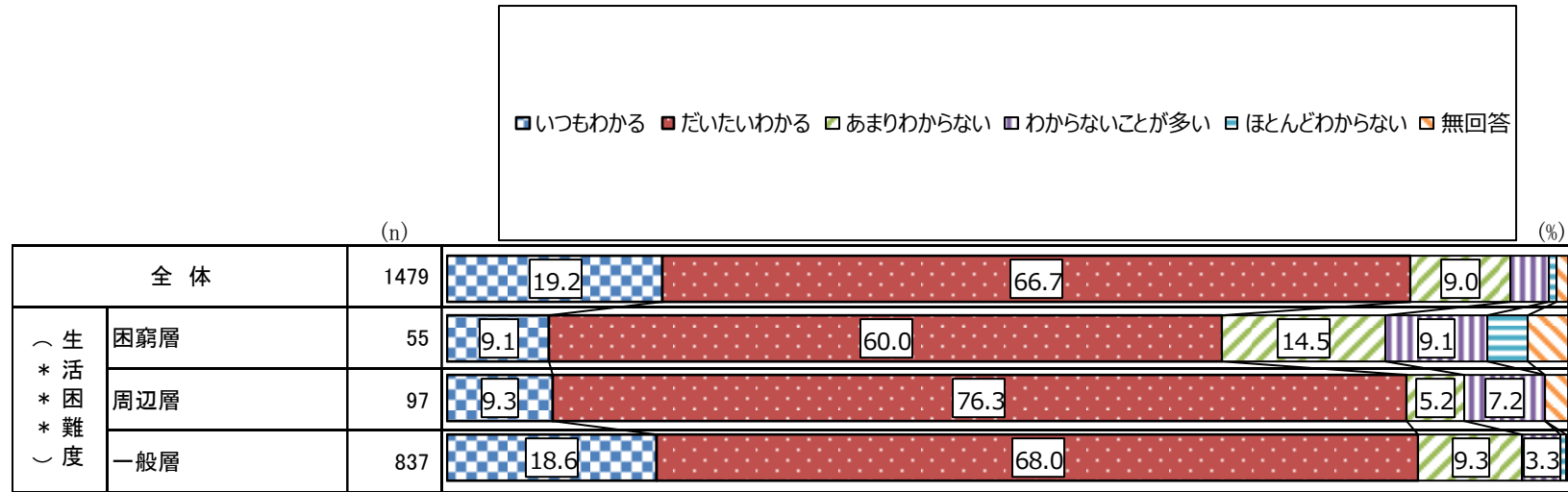


(n: 困窮層24人、周辺層24人、一般層136人)

## 4 子どもの学び

# 4 - 1. 授業の理解度：生活困難度別

✓ 1割強の子どもが学校の授業が「わからない」と回答し、その割合は困窮層で3割弱にのぼる

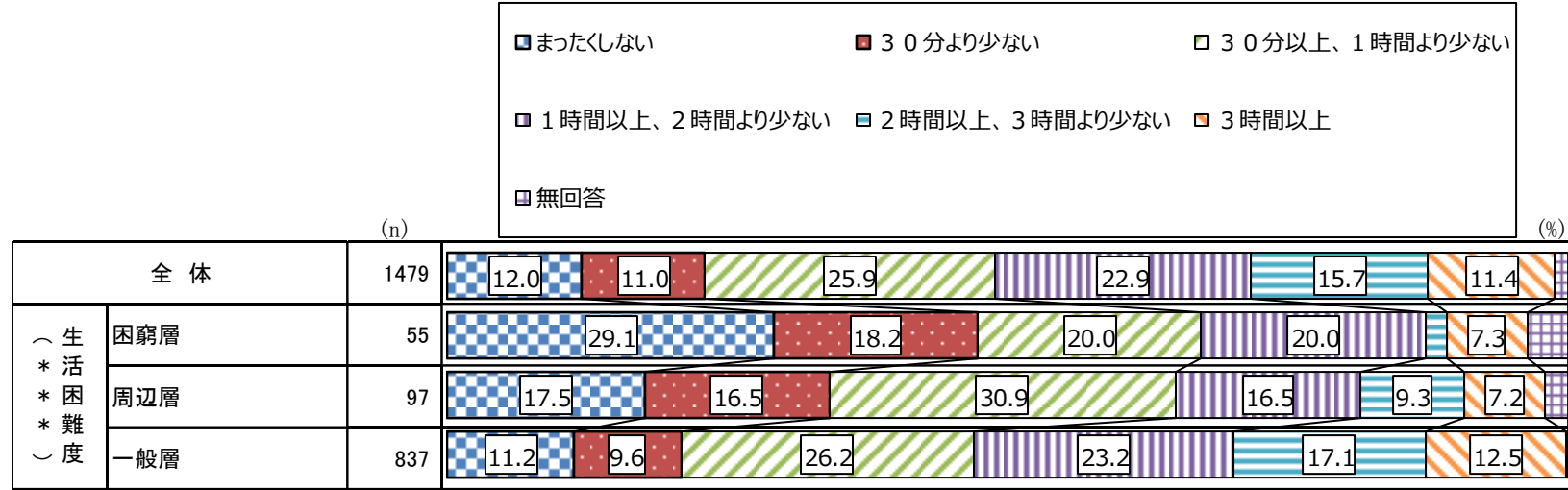


※5.0%未満は値を省略している

		該当数	いつもわかる	だいたいわかる	あまりわからない	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答
全体		1479	19.2	66.7	9.0	3.4	0.7	1.0
生活困難度	困窮層	55	9.1	60.0	14.5	9.1	3.6	3.6
	周辺層	97	9.3	76.3	5.2	7.2	0.0	2.1
	一般層	837	18.6	68.0	9.3	3.3	0.6	0.1

## 4-2. 学校の授業以外での勉強時間：生活困難度別

✓ 困窮層、周辺層にて、学校の授業以外で勉強時間が短い傾向にある



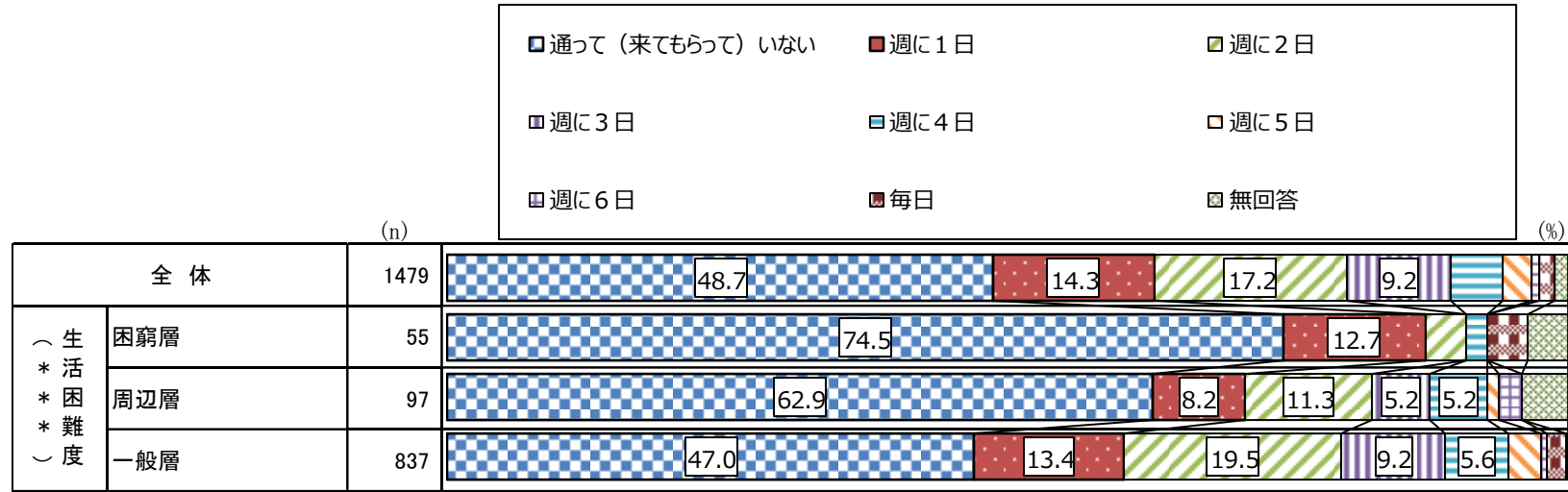
※5.0%未満は値を省略している

		該当数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答
全体		1479	12.0	11.0	25.9	22.9	15.7	11.4	1.1
生活困難度	困窮層	55	29.1	18.2	20.0	20.0	1.8	7.3	3.6
	周辺層	97	17.5	16.5	30.9	16.5	9.3	7.2	2.1
	一般層	837	11.2	9.6	26.2	23.2	17.1	12.5	0.2



# 4-3. 塾・家庭教師の利用有無・頻度：生活困難度別

✓ 5割の子どもが塾や予備校・家庭教師を利用しており、生活困難度が上がるほど、その利用頻度が低くなる傾向にある

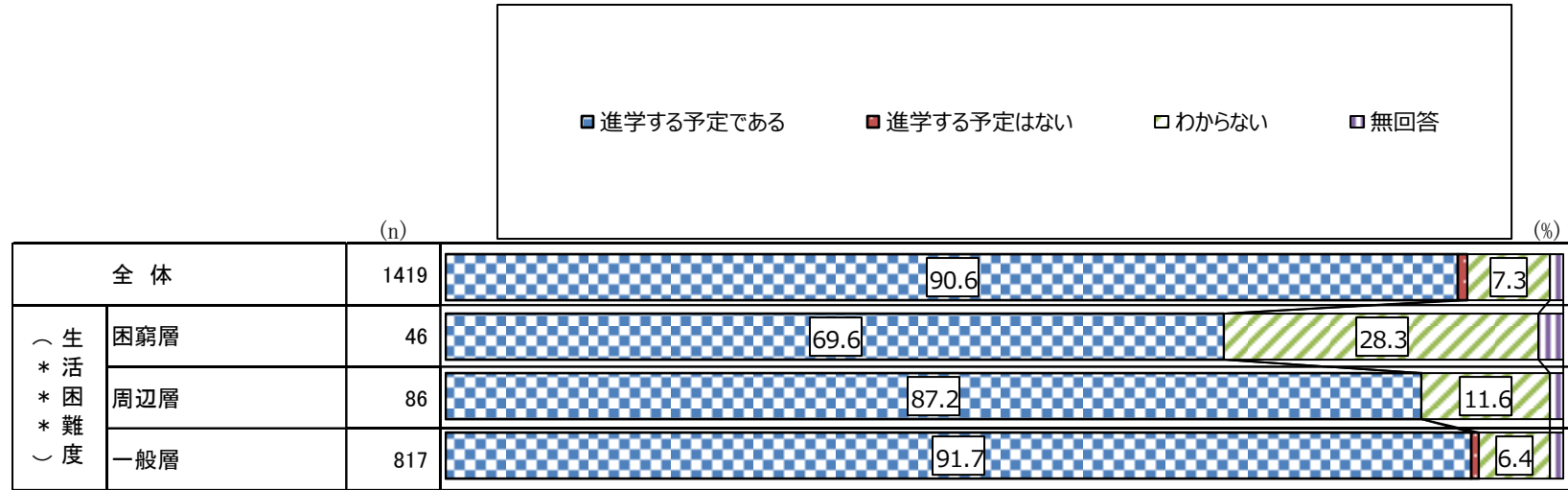


※5.0%未満は値を省略している

		該当数	通って(来てもらって)いない (%)	週に1日 (%)	週に2日 (%)	週に3日 (%)	週に4日 (%)	週に5日 (%)	週に6日 (%)	毎日 (%)	無回答 (%)
全体		1479	48.7	14.3	17.2	9.2	4.7	2.5	0.7	1.4	1.2
生活困難度	困窮層	55	74.5	12.7	3.6	0.0	1.8	0.0	0.0	3.6	3.6
	周辺層	97	62.9	8.2	11.3	5.2	5.2	1.0	2.1	0.0	4.1
	一般層	837	47.0	13.4	19.5	9.2	5.6	2.9	0.6	1.8	0.1

# 4-4. (進学希望の場合) 進学予定の有無：生活困難度別

✓ 高校卒業後の進学予定について、「わからない」と回答した割合は困窮層にて高い

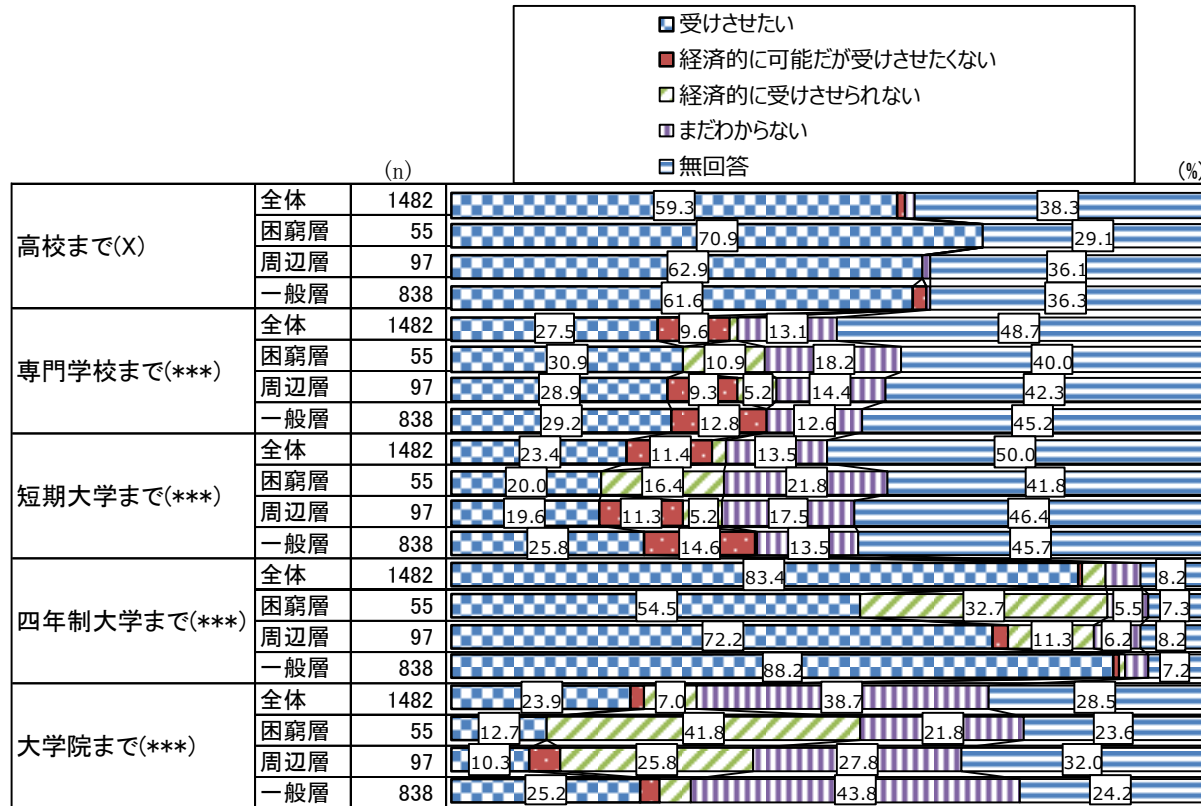


※5.0%未満は値を省略している

		該当数	進学する予定である	進学する予定はない	わからない	無回答
全体		1419	90.6	0.8	7.3	1.3
生活困難度	困窮層	46	69.6	0.0	28.3	2.2
	周辺層	86	87.2	0.0	11.6	1.2
	一般層	817	91.7	0.7	6.4	1.2

# 4-5. 子どもに受けさせたい教育段階

✓ 8割強の保護者が大学進学を期待するが、経済的に難しいと回答した割合は困窮層にて高い

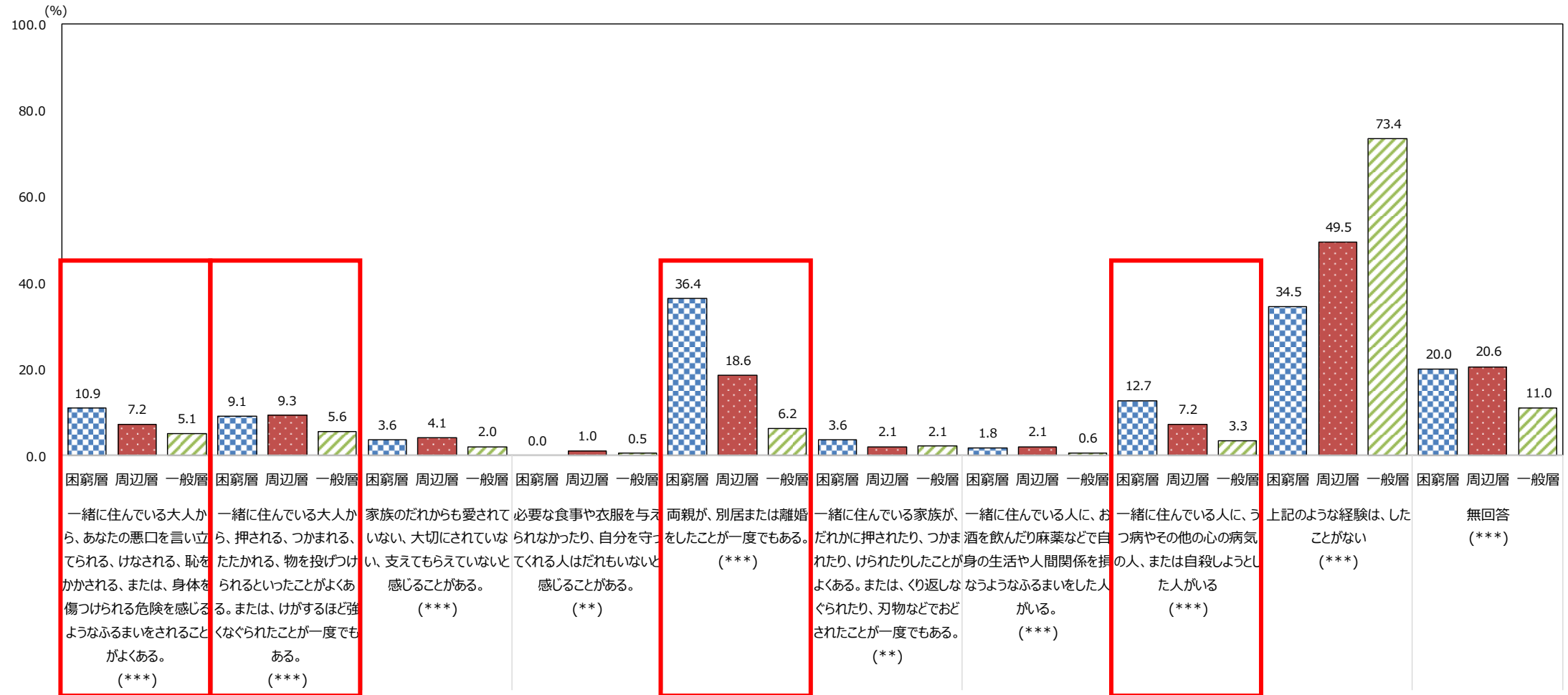


教育段階	層別	該当数	受けさせたい (%)	経済的に可能だが受けさせたくない (%)	経済的に受けさせられない (%)	まだわからない (%)	無回答 (%)
高校まで(X)	全体	1482	59.3	1.1	0.1	1.1	38.3
	困窮層	55	70.9	0.0	0.0	0.0	29.1
	周辺層	97	62.9	0.0	0.0	1.0	36.1
	一般層	838	61.6	1.7	0.0	0.5	36.3
専門学校まで(***)	全体	1482	27.5	9.6	1.1	13.1	48.7
	困窮層	55	30.9	0.0	10.9	18.2	40.0
	周辺層	97	28.9	9.3	5.2	14.4	42.3
	一般層	838	29.2	12.8	0.1	12.6	45.2
短期大学まで(***)	全体	1482	23.4	11.4	1.7	13.5	50.0
	困窮層	55	20.0	0.0	16.4	21.8	41.8
	周辺層	97	19.6	11.3	5.2	17.5	46.4
	一般層	838	25.8	14.6	0.5	13.5	45.7
四年制大学まで(***)	全体	1482	83.4	0.7	3.0	4.7	8.2
	困窮層	55	54.5	0.0	32.7	5.5	7.3
	周辺層	97	72.2	2.1	11.3	6.2	8.2
	一般層	838	88.2	0.8	0.6	3.2	7.2
大学院まで(***)	全体	1482	23.9	1.9	7.0	38.7	28.5
	困窮層	55	12.7	0.0	41.8	21.8	23.6
	周辺層	97	10.3	4.1	25.8	27.8	32.0
	一般層	838	25.2	2.6	4.2	43.8	24.2

## 5 子どもの逆境体験

# 5 - 1. 逆境体験：生活困難度別

✓ 困窮層、周辺層にて、様々な逆境体験のある子どもの割合が高い



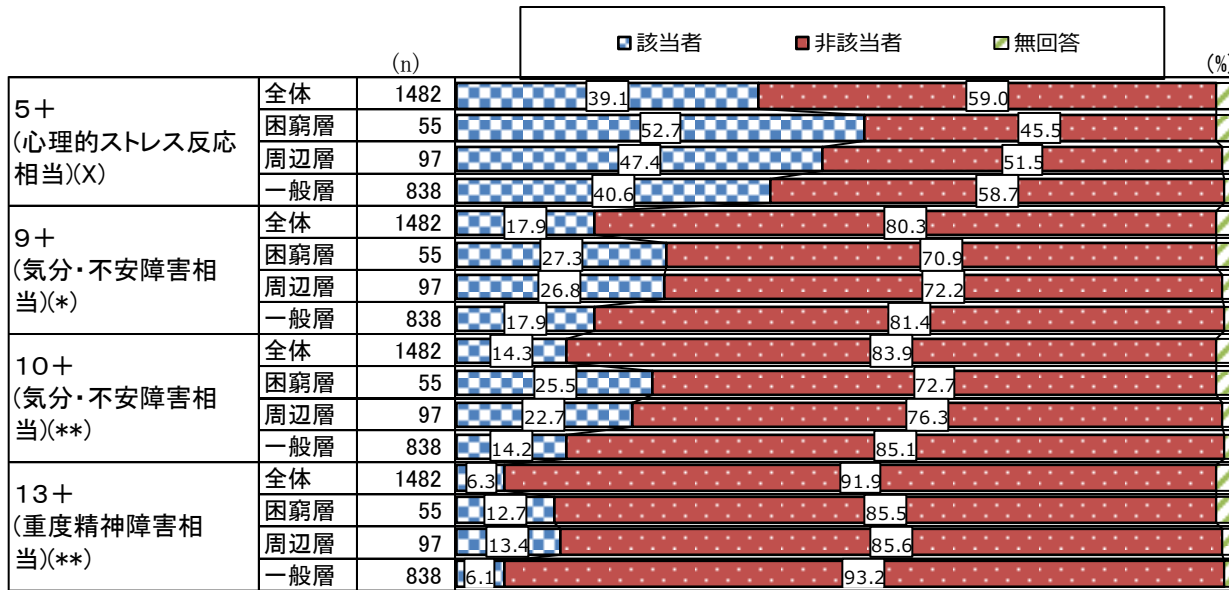
(n: 困窮層55人、周辺層97人、一般層838人)

## 6 子どもの健康

# 6 - 1. 抑うつ傾向

✓ 2 割弱の子どもが抑うつ傾向（※）にあるが、困窮層、周辺層では3 割弱にのぼる

※K6指標（「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「それぞれ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか」「何をしても骨折りだと感じましたか」「自分は価値がない人間だと感じましたか」の6つの質問について、「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」「全くない」の5段階で回答してもらい、各項目につき0～4点の点数をつけ、その合計点で抑うつ傾向を把握するもの）を用いて測定。9点以上を「抑うつ傾向あり」とする。



※5.0%以下は値を省略している

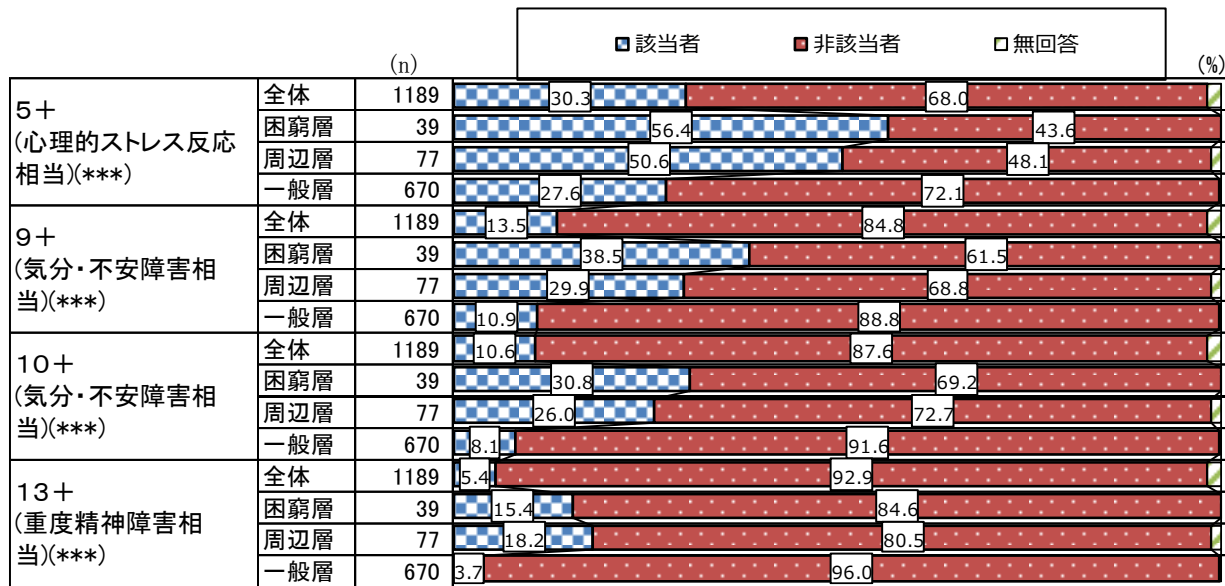
		該当数	該当者	非該当者	無回答
5+ (心理的ストレス反応相当)(X)	全体	1482	39.1	59.0	1.8
	困窮層	55	52.7	45.5	1.8
	周辺層	97	47.4	51.5	1.0
	一般層	838	40.6	58.7	0.7
9+ (気分・不安障害相当)(* )	全体	1482	17.9	80.3	1.8
	困窮層	55	27.3	70.9	1.8
	周辺層	97	26.8	72.2	1.0
	一般層	838	17.9	81.4	0.7
10+ (気分・不安障害相当)** )	全体	1482	14.3	83.9	1.8
	困窮層	55	25.5	72.7	1.8
	周辺層	97	22.7	76.3	1.0
	一般層	838	14.2	85.1	0.7
13+ (重度精神障害相当)** )	全体	437	6.3	91.9	1.8
	困窮層	32	12.7	85.5	1.8
	周辺層	42	13.4	85.6	1.0
	一般層	221	6.1	93.2	0.7

## 7 保護者の状況



# 7-1. 母親の抑うつ傾向：生活困難度別

✓ 1割強の母親が抑うつ傾向にあるが、生活困難度が上がるほどその割合が高くなる

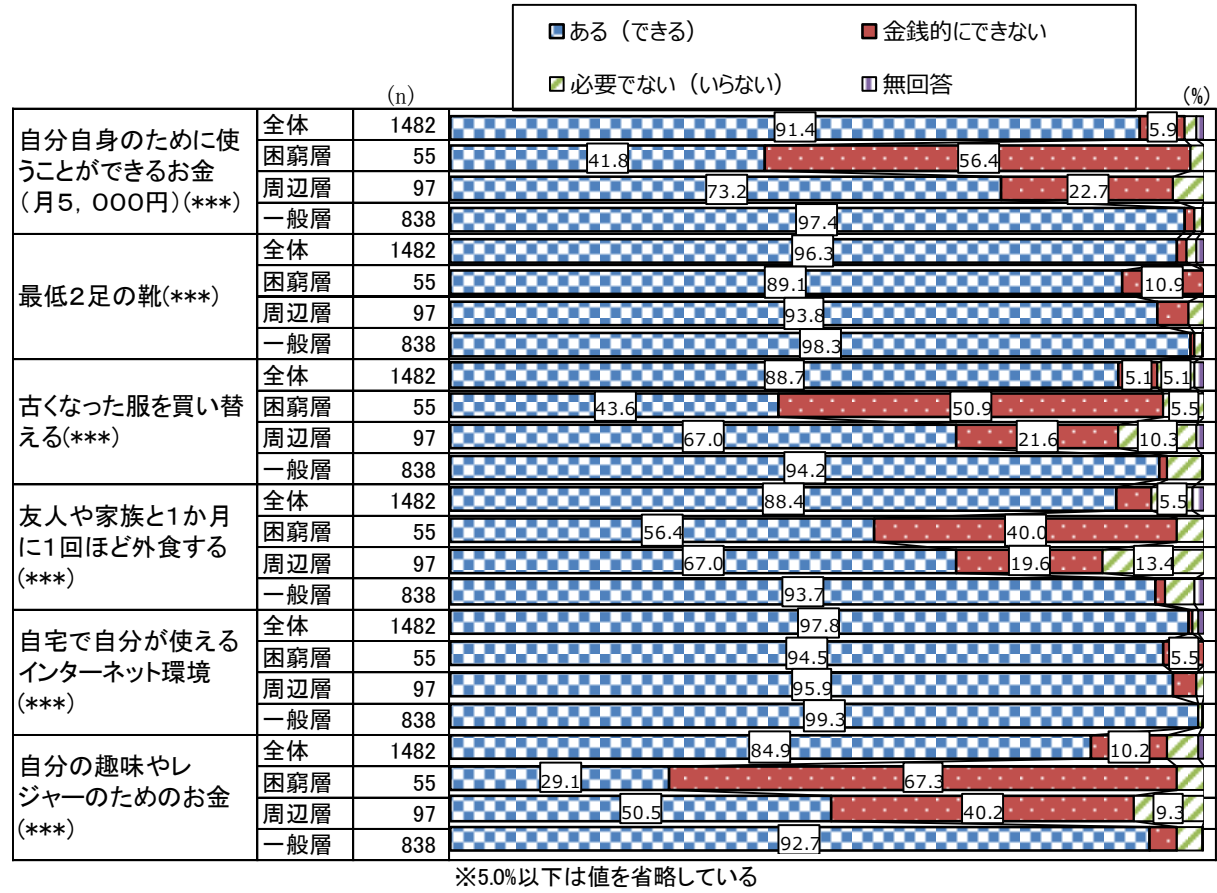


※5.0%以下は値を省略している

生活困難度	層	該当数	該当者 (%)	非該当者 (%)	無回答 (%)
5+ (心理的ストレス反応相当)(***)	全体	1189	30.3	68.0	1.8
	困窮層	39	56.4	43.6	0.0
	周辺層	77	50.6	48.1	1.3
	一般層	670	27.6	72.1	0.3
9+ (気分・不安障害相当)(***)	全体	1189	13.5	84.8	1.8
	困窮層	39	38.5	61.5	0.0
	周辺層	77	29.9	68.8	1.3
	一般層	670	10.9	88.8	0.3
10+ (気分・不安障害相当)(***)	全体	1189	10.6	87.6	1.8
	困窮層	39	30.8	69.2	0.0
	周辺層	77	26.0	72.7	1.3
	一般層	670	8.1	91.6	0.3
13+ (重度精神障害相当)(***)	全体	1189	5.4	92.9	1.8
	困窮層	39	15.4	84.6	0.0
	周辺層	77	18.2	80.5	1.3
	一般層	670	3.7	96.0	0.3

# 7-2. 保護者の所有物・体験

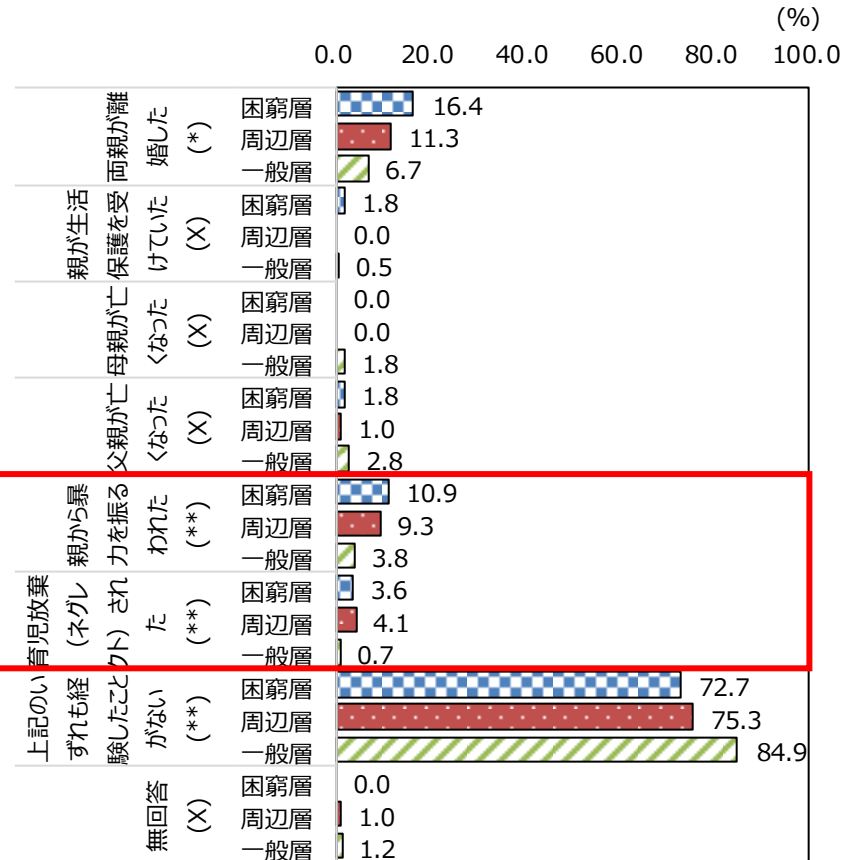
✓ 困窮層にて、保護者が様々な所有物・体験を「金銭的にない（できない）」と回答した割合が高い



項目	階層	該当数	ある(できる)	金銭的にできない	必要でない(いらない)	無回答
自分自身のために使うことができるお金 (月5,000円)(***)	全体	1482	91.4	5.9	1.8	0.9
	困窮層	55	41.8	56.4	1.8	0.0
	周辺層	97	73.2	22.7	4.1	0.0
	一般層	838	97.4	1.3	1.2	0.1
最低2足の靴(***)	全体	1482	96.3	1.3	1.3	1.0
	困窮層	55	89.1	10.9	0.0	0.0
	周辺層	97	93.8	4.1	2.1	0.0
	一般層	838	98.3	0.4	1.1	0.2
古くなった服を買い替える(***)	全体	1482	88.7	5.1	5.1	1.2
	困窮層	55	43.6	50.9	5.5	0.0
	周辺層	97	67.0	21.6	10.3	1.0
	一般層	838	94.2	0.8	4.8	0.2
友人や家族と1か月に1回ほど外食する(***)	全体	1482	88.4	4.7	5.5	1.5
	困窮層	55	56.4	40.0	3.6	0.0
	周辺層	97	67.0	19.6	13.4	0.0
	一般層	838	93.7	1.2	3.9	1.2
自宅で自分が使えるインターネット環境(***)	全体	1482	97.8	0.5	0.8	0.8
	困窮層	55	94.5	5.5	0.0	0.0
	周辺層	97	95.9	3.1	1.0	0.0
	一般層	838	99.3	0.0	0.6	0.1
自分の趣味やレジャーのためのお金(***)	全体	1482	84.9	10.2	4.1	0.8
	困窮層	55	29.1	67.3	3.6	0.0
	周辺層	97	50.5	40.2	9.3	0.0
	一般層	838	92.7	3.8	3.3	0.1

# 7-3. 保護者が成人するまでに体験した困難

✓ 生活困難層の保護者は、成人する前に親から暴力を振るわれた経験、育児放棄をされた経験がある割合が高い

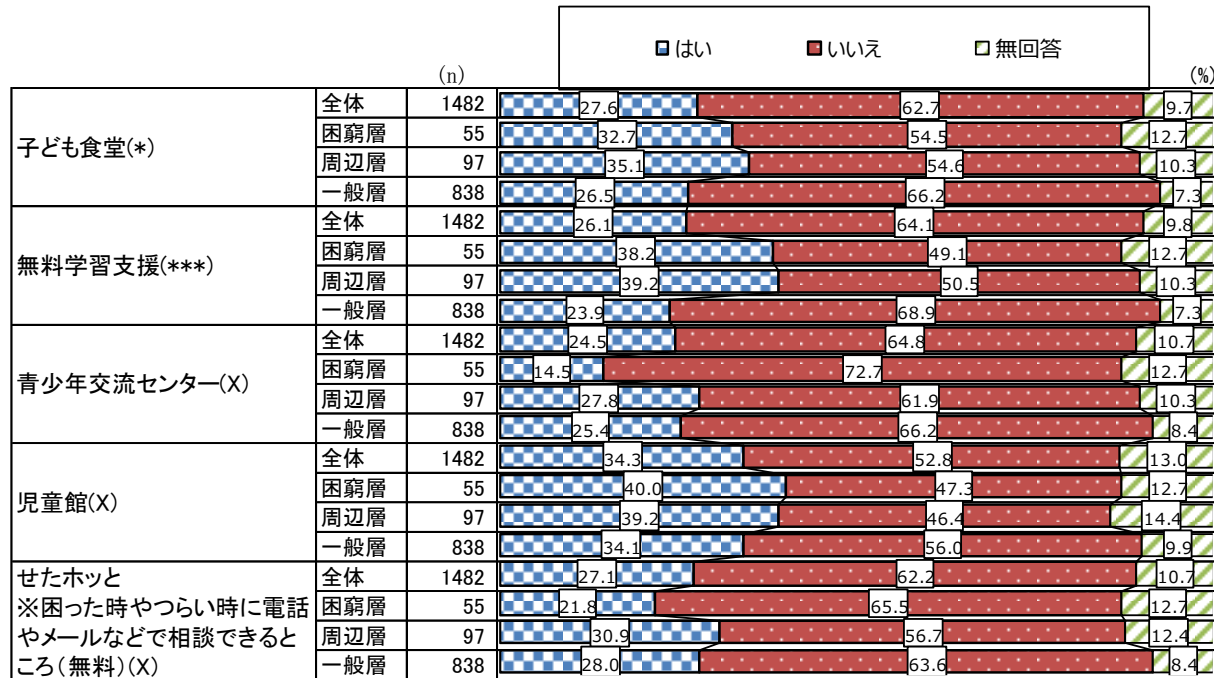


(n: 困窮層55人、周辺層97人、一般層836人)

## 8 制度・サービスの利用

# 8 - 1. 支援制度の利用意向（子ども）

✓ 「子ども食堂」「無料学習支援」の利用意向は、困窮層、周辺層の子どもにて高い傾向にある

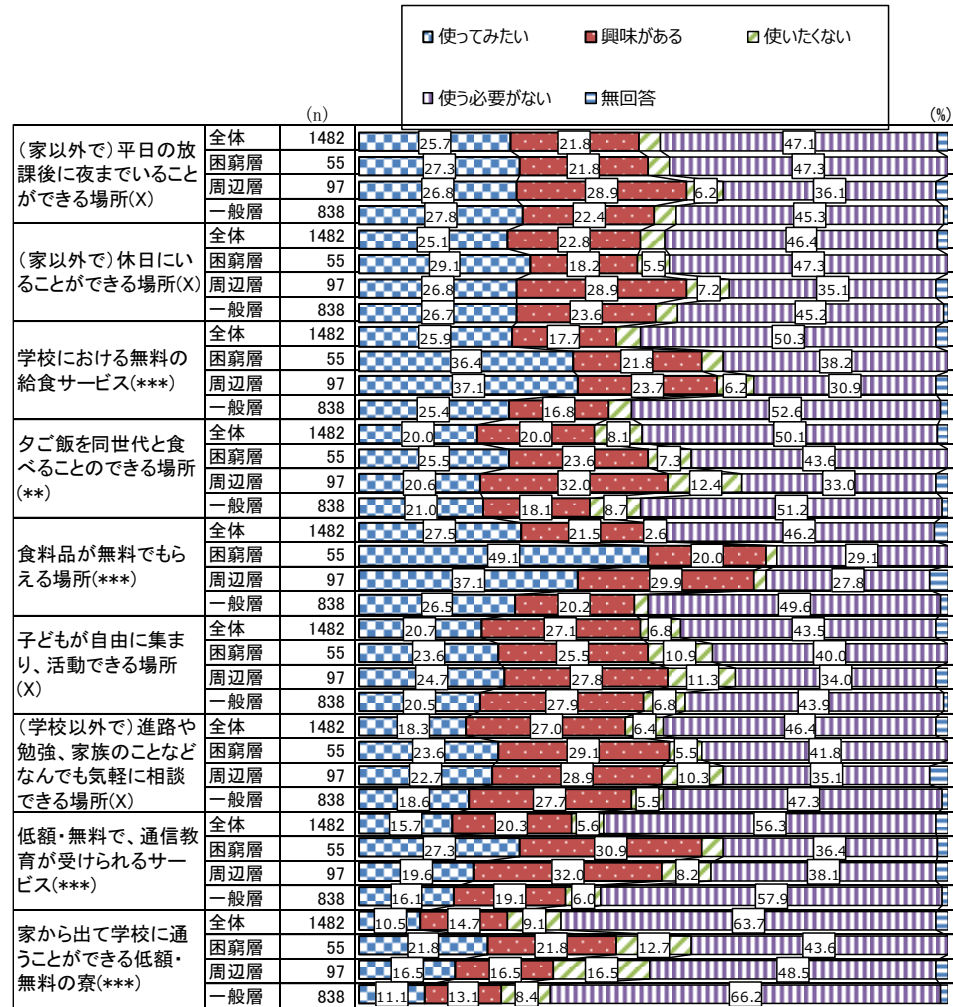


※5.0%以下は値を省略している

支援制度	層	該当数	はい	いいえ	無回答
子ども食堂(*)	全体	1482	27.6	62.7	9.7
	困窮層	55	32.7	54.5	12.7
	周辺層	97	35.1	54.6	10.3
	一般層	838	26.5	66.2	7.3
無料学習支援(***)	全体	1482	26.1	64.1	9.8
	困窮層	55	38.2	49.1	12.7
	周辺層	97	39.2	50.5	10.3
	一般層	838	23.9	68.9	7.3
青少年交流センター(X)	全体	1482	24.5	64.8	10.7
	困窮層	55	14.5	72.7	12.7
	周辺層	97	27.8	61.9	10.3
	一般層	838	25.4	66.2	8.4
児童館(X)	全体	1482	34.3	52.8	13.0
	困窮層	55	40.0	47.3	12.7
	周辺層	97	39.2	46.4	14.4
	一般層	838	34.1	56.0	9.9
せたホット ※困った時やつらい時に電話 やメールなどで相談できると ころ(無料)(X)	全体	1482	27.1	62.2	10.7
	困窮層	55	21.8	65.5	12.7
	周辺層	97	30.9	56.7	12.4
	一般層	838	28.0	63.6	8.4

# 8-2. 使ってみたい場所やサービス (子ども)

✓ 使ってみたい場所やサービスとして「食料品が無料でもらえる場所」と回答した子どもの割合は、困窮層、周辺層にて高い

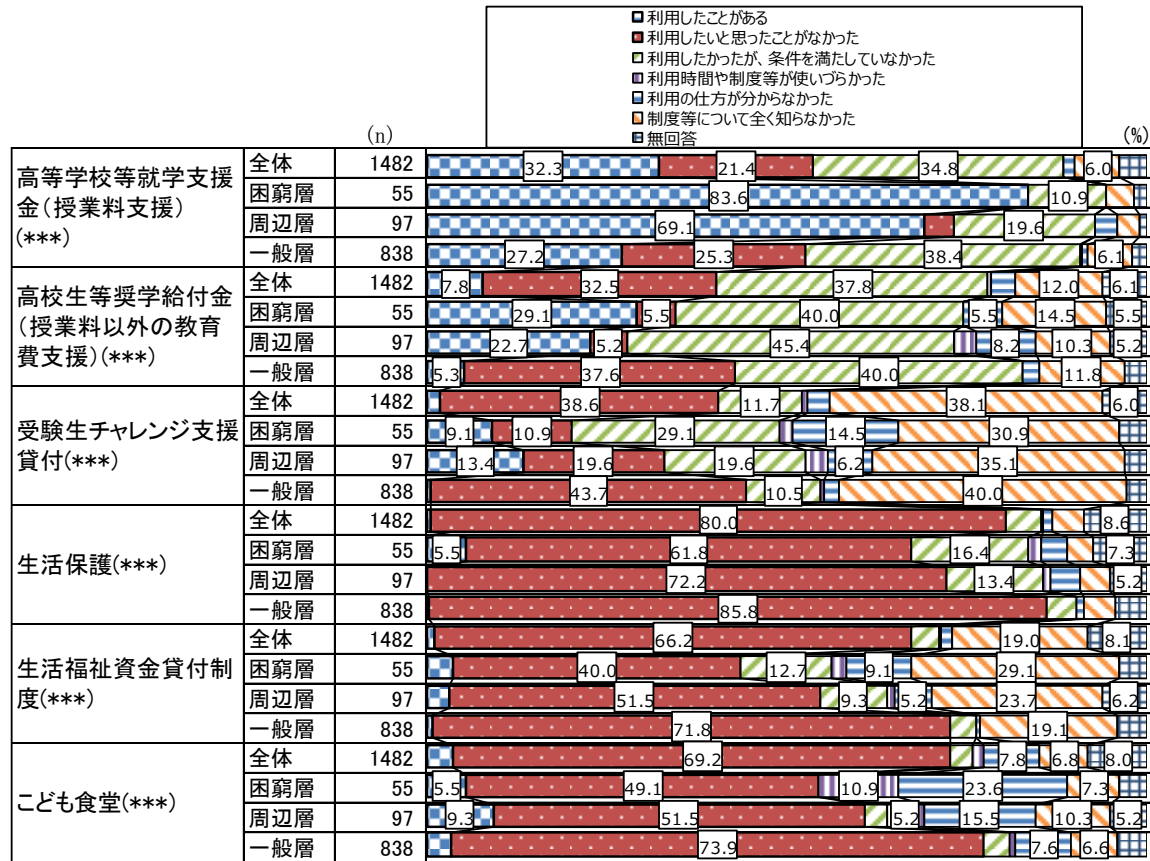


※5.0%以下は値を省略している

	該当数	使ってみたい (%)	興味がある (%)	使いたくない (%)	使う必要がない (%)	無回答 (%)	
(家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所(X)	全体	1482	25.7	21.8	3.7	47.1	1.7
	困窮層	55	27.3	21.8	3.6	47.3	0.0
	周辺層	97	26.8	28.9	6.2	36.1	2.1
(家以外で) 休日にいることができる場所(X)	全体	1482	25.1	22.8	4.0	46.4	1.7
	困窮層	55	29.1	18.2	5.5	47.3	0.0
	周辺層	97	26.8	28.9	7.2	35.1	2.1
学校における無料の給食サービス(***)	全体	1482	25.9	17.7	4.3	50.3	1.9
	困窮層	55	36.4	21.8	3.6	38.2	0.0
	周辺層	97	37.1	23.7	6.2	30.9	2.1
タご飯を同世代と食べることのできる場所(**)	全体	1482	20.0	20.0	8.1	50.1	1.8
	困窮層	55	25.5	23.6	7.3	43.6	0.0
	周辺層	97	20.6	32.0	12.4	33.0	2.1
食料品が無料でもらえる場所(***)	全体	1482	27.5	21.5	2.6	46.2	2.2
	困窮層	55	49.1	20.0	1.8	29.1	0.0
	周辺層	97	37.1	29.9	2.1	27.8	3.1
子どもが自由に集まり、活動できる場所(X)	全体	1482	20.7	27.1	6.8	43.3	1.9
	困窮層	55	23.6	25.5	10.9	40.0	0.0
	周辺層	97	24.7	27.8	11.3	34.0	2.1
(学校以外で) 進路や勉強、家族のことなどなんでも気軽に相談できる場所(X)	全体	1482	18.3	27.0	6.4	46.4	2.0
	困窮層	55	23.6	29.1	5.5	41.8	0.0
	周辺層	97	22.7	28.9	10.3	35.1	3.1
低額・無料で、通信教育が受けられるサービス(***)	全体	1482	15.7	20.3	5.6	56.3	2.0
	困窮層	55	27.3	30.9	3.6	36.4	1.8
	周辺層	97	19.6	32.0	8.2	38.1	2.1
家から出て学校に通うことができる低額・無料の寮(***)	全体	1482	10.5	14.7	9.1	63.7	2.0
	困窮層	55	21.8	21.8	12.7	43.6	0.0
	周辺層	97	16.5	16.5	16.5	48.5	2.1

# 8-3. 支援制度の利用状況（保護者）：生活困難度別①

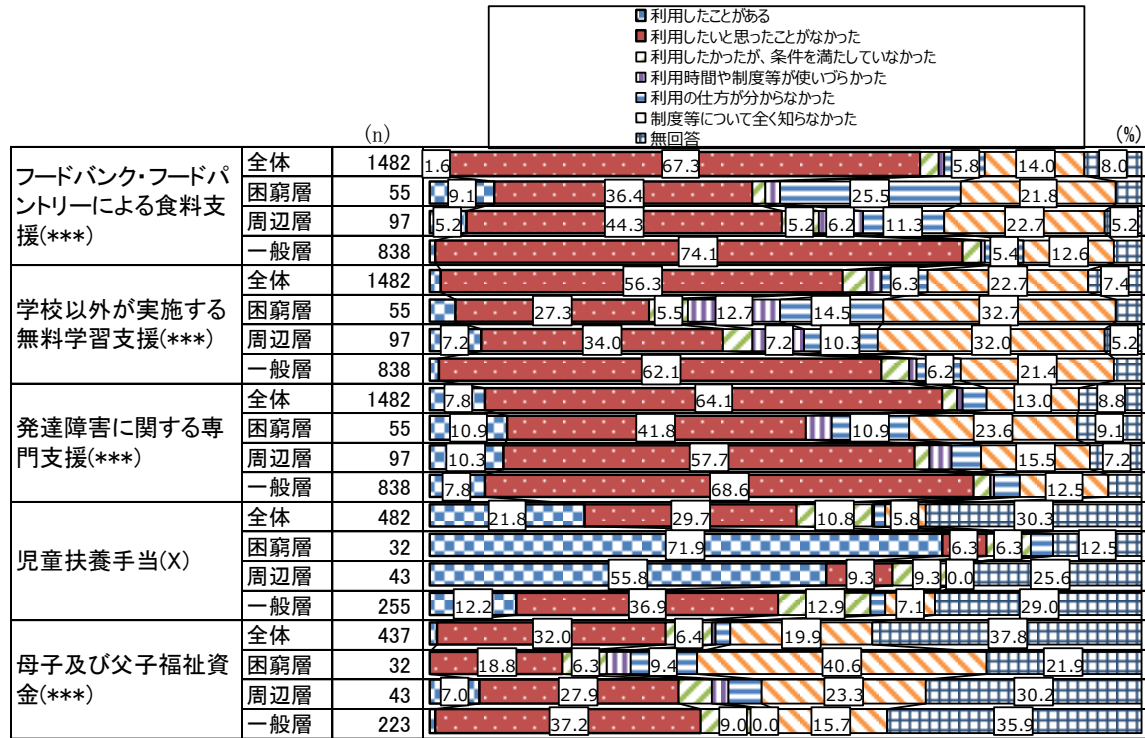
✓ 利用意向があったが、利用しなかった保護者の割合は、「高校生等奨学給付金（授業料以外の教育費支援）」において、最も高い



※5.0%以下は値を省略している

支援制度	層別	該当数	利用したことがある	利用したいと思ったことがなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用時間や制度等が使いづらかった	利用の仕方が分からなかった	制度等について全く知らなかった	無回答
高等学校等就学支援金(授業料支援)(***)	全体	1482	32.3	21.4	34.8	0.1	1.6	6.0	3.8
	困窮層	55	83.6	0.0	10.9	0.0	0.0	3.6	1.8
	周辺層	97	69.1	4.1	19.6	0.0	3.1	3.1	1.0
	一般層	838	27.2	25.3	38.4	0.1	0.8	6.1	2.0
高校生等奨学給付金(授業料以外の教育費支援)(***)	全体	1482	7.8	32.5	37.8	0.5	3.3	12.0	6.1
	困窮層	55	29.1	5.5	40.0	0.0	5.5	14.5	5.5
	周辺層	97	22.7	5.2	45.4	3.1	8.2	10.3	5.2
	一般層	838	5.3	37.6	40.0	0.1	2.1	11.8	3.1
受験生チャレンジ支援貸付(***)	全体	1482	9.1	10.9	38.6	11.7	38.1	6.0	6.0
	困窮層	55	13.4	19.6	19.6	19.6	6.2	35.1	3.6
	周辺層	97	13.4	19.6	19.6	3.1	6.2	35.1	3.1
	一般層	838	0.6	43.7	10.5	0.5	2.0	40.0	2.7
生活保護(***)	全体	1482	0.5	80.0	4.9	0.2	1.3	4.5	8.6
	困窮層	55	5.5	61.8	16.4	1.8	3.6	3.6	7.3
	周辺層	97	0.0	72.2	13.4	1.0	4.1	4.1	5.2
	一般層	838	0.4	85.8	4.2	0.0	1.1	4.3	4.3
生活福祉資金貸付制度(***)	全体	1482	1.1	66.2	3.9	0.2	1.5	19.0	8.1
	困窮層	55	3.6	40.0	12.7	1.8	9.1	29.1	3.6
	周辺層	97	3.1	51.5	9.3	1.0	5.2	23.7	6.2
	一般層	838	0.8	71.8	3.6	0.0	0.6	19.1	4.1
こども食堂(***)	全体	1482	3.6	69.2	3.0	1.6	7.8	6.8	8.0
	困窮層	55	5.5	49.1	10.9	23.6	7.3	7.3	3.6
	周辺層	97	9.3	51.5	5.2	15.5	10.3	5.2	5.2
	一般層	838	3.5	73.9	3.6	1.0	7.6	6.6	3.9

# 8-3. 支援制度の利用状況（保護者）：生活困難度別②



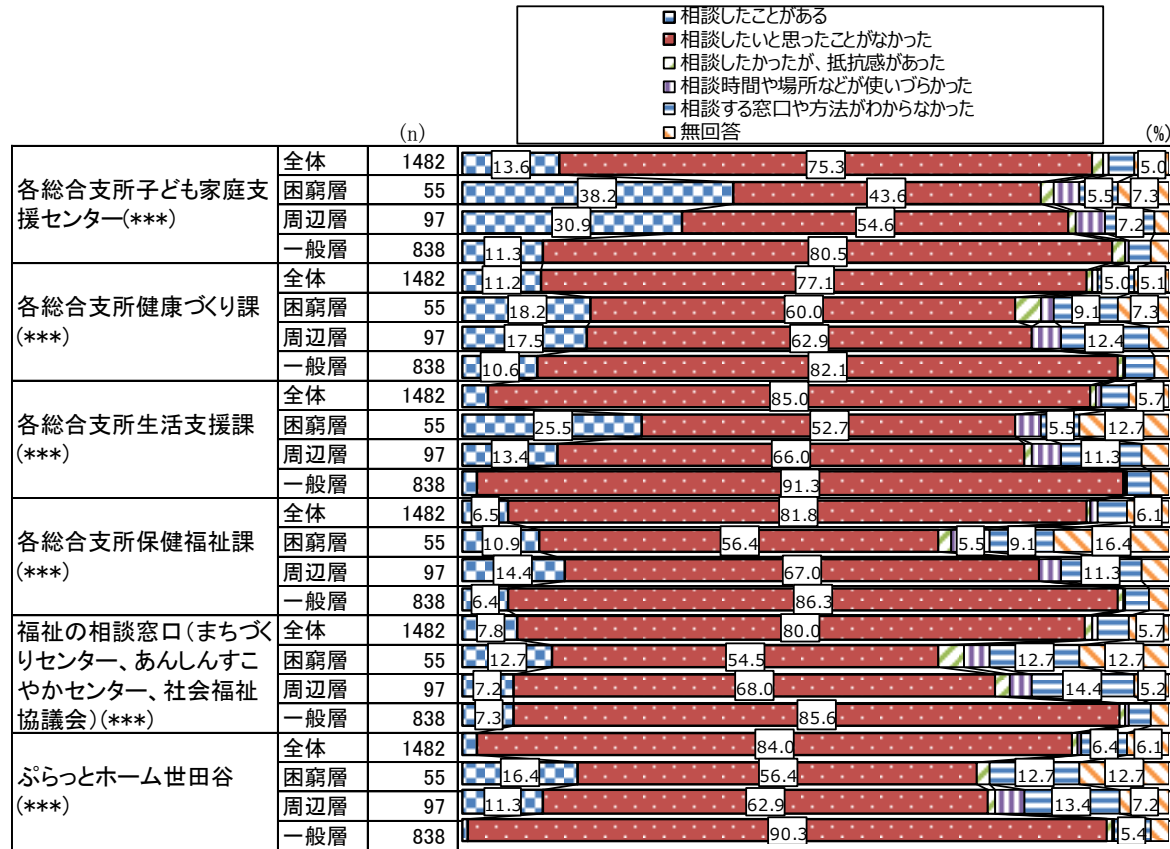
※5.0%以下は値を省略している

支援制度	生活困難度	該当数	利用したことがある (%)	利用したいと思ったことがなかった (%)	利用したかったが、条件を満たしていなかった (%)	利用時間や制度等が使いづらかった (%)	利用の仕方が分からなかった (%)	制度等について全く知らなかった (%)	無回答 (%)
フードバンク・フードパントリーによる食料支援(***)	全体	1482	1.6	67.3	2.6	0.8	5.8	14.0	8.0
	困窮層	55	9.1	36.4	1.8	1.8	25.5	21.8	3.6
	周辺層	97	5.2	44.3	5.2	6.2	11.3	22.7	5.2
	一般層	838	0.7	74.1	2.7	0.5	5.4	12.6	3.9
学校以外が実施する無料学習支援(***)	全体	1482	1.7	56.3	3.4	2.1	6.3	22.7	7.4
	困窮層	55	3.6	27.3	5.5	12.7	14.5	32.7	3.6
	周辺層	97	7.2	34.0	4.1	7.2	10.3	32.0	5.2
	一般層	838	1.4	62.1	3.9	1.1	6.2	21.4	3.9
発達障害に関する専門支援(***)	全体	1482	7.8	64.1	2.0	0.8	3.4	13.0	8.8
	困窮層	55	10.9	41.8	0.0	3.6	10.9	23.6	9.1
	周辺層	97	10.3	57.7	2.1	3.1	4.1	15.5	7.2
	一般層	838	7.8	68.6	2.4	0.5	3.6	12.5	4.7
児童扶養手当(X)	全体	482	21.8	29.7	10.8	0.2	1.5	5.8	30.3
	困窮層	32	71.9	6.3	6.3	0.0	3.1	0.0	12.5
	周辺層	43	55.8	9.3	9.3	0.0	0.0	0.0	25.6
	一般層	255	12.2	36.9	12.9	0.0	2.0	7.1	29.0
母子及び父子福祉資金(***)	全体	437	1.1	32.0	6.4	0.7	2.1	19.9	37.8
	困窮層	32	0.0	18.8	6.3	3.1	9.4	40.6	21.9
	周辺層	43	7.0	27.9	23.3	4.7	4.7	23.3	30.2
	一般層	223	0.9	37.2	9.0	0.0	1.3	15.7	35.9



# 8-4. 公的機関への相談の有無（保護者）：生活困難度別①

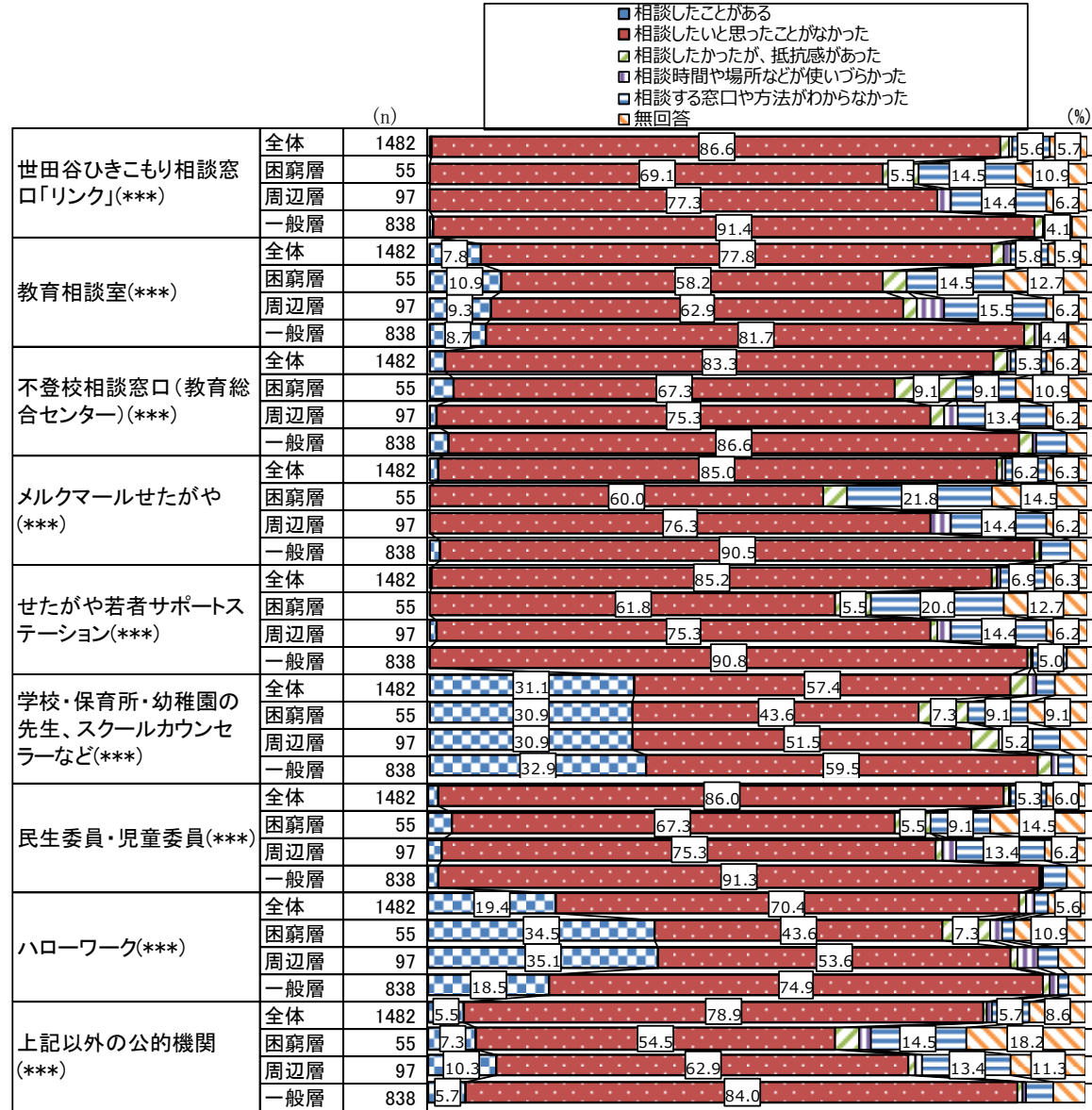
✓ 生活困難層は、相談経験のある保護者が多い傾向にあるが、相談意向があったが相談にいたらなかった保護者の割合も高い傾向にある



※5.0%以下は値を省略している

施設	層	該当数	相談したことがある	相談したいと思ったことがなかった	相談したかったが、抵抗感があった	相談時間や場所などが使いづらかった	相談する窓口や方法がわからなかった	無回答
各総合支所子ども家庭支援センター(***)	全体	1482	13.6	75.3	1.6	0.8	3.7	5.0
	困窮層	55	38.2	43.6	1.8	3.6	5.5	7.3
	一般層	838	11.3	80.5	1.9	0.5	3.0	2.7
各総合支所健康づくり課(***)	全体	1482	11.2	77.1	0.8	0.8	5.0	5.1
	困窮層	55	18.2	60.0	3.6	1.8	9.1	7.3
	一般層	838	10.6	82.1	0.6	0.4	4.1	2.3
各総合支所生活支援課(***)	全体	1482	3.7	85.0	0.7	0.8	4.0	5.7
	困窮層	55	25.5	52.7	0.0	3.6	5.5	12.7
	一般層	838	2.1	91.3	0.4	0.2	3.2	2.7
各総合支所保健福祉課(***)	全体	1482	6.5	81.8	0.5	1.0	4.1	6.1
	困窮層	55	10.9	56.4	1.8	5.5	9.1	16.4
	一般層	838	6.4	86.3	0.6	0.4	3.3	3.0
福祉の相談窓口(まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会)(***)	全体	1482	7.8	80.0	1.1	0.8	4.5	5.7
	困窮層	55	12.7	54.5	3.6	3.6	12.7	12.7
	一般層	838	7.3	85.6	1.0	0.4	3.1	2.7
ふらっとホーム世田谷(***)	全体	1482	2.2	84.0	0.7	0.6	6.4	6.1
	困窮層	55	16.4	56.4	1.8	0.0	12.7	12.7
	一般層	838	11.3	62.9	1.0	4.1	13.4	7.2

# 8 - 4. 公的機関への相談の有無（保護者）：生活困難度別②



※5.0%以下は値を省略している

機関	階層	該当数	相談したことがある	相談したいと思ったことがなかった	相談したかったが、抵抗感があった	相談時間や場所などが使いつらなかった	相談する窓口や方法がわからなかった	無回答
世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」(***)	全体	1482	0.3	86.6	1.3	0.4	5.6	5.7
	困窮層	55	0.0	69.1	5.5	0.0	14.5	10.9
	周辺層	97	0.0	77.3	0.0	2.1	14.4	6.2
	一般層	838	0.6	91.4	1.3	0.2	4.1	2.4
教育相談室(***)	全体	1482	7.8	77.8	1.8	0.9	5.8	5.9
	困窮層	55	10.9	58.2	3.6	0.0	14.5	12.7
	周辺層	97	9.3	62.9	2.1	4.1	15.5	6.2
	一般層	838	8.7	81.7	1.7	0.6	4.4	2.9
不登校相談窓口（教育総合センター）(***)	全体	1482	2.4	83.3	2.1	0.7	5.3	6.2
	困窮層	55	3.6	67.3	9.1	0.0	9.1	10.9
	周辺層	97	1.0	75.3	2.1	2.1	13.4	6.2
	一般層	838	3.0	86.6	2.1	0.6	4.5	3.1
メルクマールせたがや(***)	全体	1482	1.3	85.0	0.7	0.5	6.2	6.3
	困窮層	55	0.0	60.0	3.6	0.0	21.8	14.5
	周辺層	97	0.0	76.3	0.0	3.1	14.4	6.2
	一般層	838	1.7	90.5	0.6	0.2	4.4	2.6
せたがや若者サポートステーション(***)	全体	1482	0.3	85.2	0.7	0.5	6.9	6.3
	困窮層	55	0.0	61.8	5.5	0.0	20.0	12.7
	周辺層	97	1.0	75.3	1.0	2.1	14.4	6.2
	一般層	838	0.1	90.8	0.5	0.5	5.0	3.1
学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど(***)	全体	1482	31.1	57.4	2.4	1.3	3.0	4.8
	困窮層	55	30.9	43.6	7.3	0.0	9.1	9.1
	周辺層	97	30.9	51.5	4.1	5.2	4.1	4.1
	一般層	838	32.9	59.5	2.3	1.0	2.3	2.0
民生委員・児童委員(***)	全体	1482	1.6	86.0	0.6	0.4	5.3	6.0
	困窮層	55	3.6	67.3	5.5	0.0	9.1	14.5
	周辺層	97	2.1	75.3	1.0	2.1	13.4	6.2
	一般層	838	1.7	91.3	0.2	0.2	3.8	2.7
ハローワーク(***)	全体	1482	19.4	70.4	1.1	1.3	2.2	5.6
	困窮層	55	34.5	43.6	7.3	1.8	1.8	10.9
	周辺層	97	35.1	53.6	1.0	3.1	3.1	4.1
	一般層	838	18.5	74.9	1.1	1.3	1.6	2.6
上記以外の公的機関(***)	全体	1482	5.5	78.9	0.6	0.7	5.7	8.6
	困窮層	55	7.3	54.5	3.6	1.8	14.5	18.2
	周辺層	97	10.3	62.9	1.0	1.0	13.4	11.3
	一般層	838	5.7	84.0	0.7	0.5	4.2	4.9

せたがやくれいわ ねんど こ せいかつじつたいちようさ  
世田谷区令和5年度子どもの生活実態調査

こうこうせいせだいひょう  
(高校生世代票)

こうこうせいせだい たい く と く よ  
～高校生世代のみなさんに対する区の取り組みをより良くするために、

せいかつ おし  
みなさんの生活について教えてください～

きにゆう ちゆうい  
ご記入にあたってのご注意

- このアンケートは、封筒のあて名の高校生世代のご本人がお答えください。
- 名前を書く必要はありません。調査の回答は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。
- 答えたくない質問には、答える必要はありません。無回答のまま、次の質問に進んでください。
- 自分の思う答えを書いてください。間違った答えや、正しい答えはありません。思うままに書いてください。
- 答えは、あてはまる番号に○をするか、数字や文章で書いてください。
- 日本語以外の言葉をよく使われている方にも読みやすいよう、ふりがなをつけています。
- パソコン・スマートフォンでも回答ができます。以下のURLか、右側の二次元コードからアクセスして、回答してください。

URL: <https://rsch.jp/5d34d4eal5cc16e/login.php>

アンケートサイトのはじめの画面で、右上のIDを入力してください。



このアンケートは、世田谷区の委託を受けて、株式会社富士通総研が実施しています。

アンケートの質問が分からないときや、どう答えたらよいか分からないときは、下記まで電話してください。

株式会社富士通総研 03-6424-6756 (平日10時から18時)

調査の実施についてのお問い合わせ、ご意見などは、下記まで電話してください。

世田谷区子ども・若者部子ども家庭課 03-5432-2406 (平日8時半～17時15分)

## あなたのことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- 1 男子                      2 女子                      3 その他                      4 答えたくない

問2 あなたの家族は以下のどれに最も近いですか。(○は1つ)

- 1 ふたり親(二世帯)世帯                      3 ひとり親(二世帯)世帯                      5 施設・里親  
2 ふたり親(三世帯)世帯                      4 ひとり親(三世帯)世帯                      6 その他(具体的に )

問3 あなたはどの国で生まれましたか。(○は1つ)

- 1 日本                      2 日本以外                      3 わからない・答えたくない

問4 あなたは、自分が持っている(できる)以下のものがありますか。それぞれ、あなたの状況に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	ある (できる)	ない	
		ほしい (したい)	必要でない (いらぬ)
A (毎年)新しい(お古でない)洋服・靴 →	1	2	3
B 自分の部屋 →	1	2	3
C (自宅で)インターネットにつながる環境 →	1	2	3
D 家の中で勉強ができる場所 →	1	2	3
E 自分がアクセスできる音楽や映画サービス (Hulu, Amazon Prime, Netflix など) →	1	2	3
F 友人と遊びに出かけるお金 →	1	2	3
G 自分が使えるパソコンまたはタブレット →	1	2	3
H スポーツや趣味の道具やウェアなどの必要経費 (部活含む) →	1	2	3
I 定期的なヘアカット →	1	2	3
J 月5,000円ほどの、自分で自由に使えるお金 (お小遣い) →	1	2	3
K 友人が着ているような洋服 →	1	2	3
L 2足以上のサイズの合った靴 →	1	2	3
M スマートフォン →	1	2	3
N 学習塾(または家庭教師、オンライン含む) →	1	2	3
O 1年に1回の家族旅行(1泊以上) →	1	2	3
P めがね又はコンタクトレンズ(矯正用) →	1	2	3

## あなたの普段の生活について

問5 あなたの仲が良い友達は、どのような友達ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1 今通っている学校の友達	6 習い事の友達
2 小・中学校で一緒だった友達	7 アルバイトなどの職場の友達
3 近所に住んでいる友達	8 SNSなどネット上の友達
4 スポーツ・チームや部活動(クラブ)の友達	9 その他の友達(具体的に )
5 塾・予備校の友達	10 とくに仲の良い友達はいない

がっこう べんきょう  
**学校のことや勉強のことについて**

問6 あなたは、現在、学校に在籍していますか。以下の中から、あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

- 1 高等学校(全日制)に在籍
- 2 高等学校(定時制)に在籍
- 3 高等学校(通信制)に在籍
- 4 特別支援学校に在籍
- 5 高等専門学校に在籍
- 6 専修学校(高等課程)に在籍
- 7 上記の学校のいずれかに在籍したことはあるが、中途退学した

問6-1 最後に通った学年と時期を教えてください。(枠内に数字で回答)

年生の  月まで通った

問6-2 中途退学した理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1 授業についていけなかったから   | 7 友人など人間関係があわなかったから |
| 2 高校の勉強が嫌だったから     | 8 家庭の事情から           |
| 3 高校の生活があわなかったから   | 9 非行や問題行動を起こしたから    |
| 4 先生の指導があわなかったから   | 10 病気やけがをしたから       |
| 5 進路の変更をしたかったから    | 11 経済的理由から          |
| 6 進級・単位取得ができなかったから | 12 その他(具体的に )       |

8 上記の学校のいずれにも在籍したことがない

⇒8を選んだ方は、問14にお進みください。



問7～問13-1は、問6で1～7とお答えになった方(学校に在籍している・していた方)にお聞きします。

\*問6で8を選んだ方(中学校卒業以降、学校に在籍したことのない方)は問14へお進みください。

問7 あなたが在籍している(していた)高等学校等の種類は、以下のどれにあたりますか。

問7-1 学科(○は1つ)

1 普通科	3 農業科	5 総合学科
2 工業科	4 商業科	6 その他(具体的に )

問7-2 在籍している(していた)学校について、あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

1 都立	2 私立	3 国立	4 その他(具体的に )
------	------	------	--------------

問8 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(○は1つ)

1 いつもわかる	4 わからないことが多い
2 だいたいわかる	5 ほとんどわからない
3 あまりわからない	

問8-1 学校の授業が「4 わからないことが多い」または「5 ほとんどわからない」を選んだ方にお聞きします。

いつごろから、授業がわからなくなりましたか。(○は1つ)

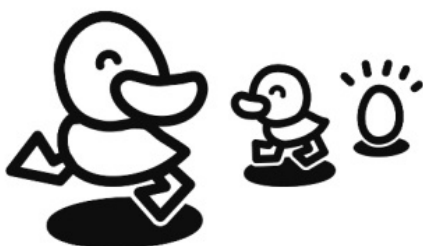
1 小学1・2年生の頃	4 中学1年生の頃	7 高校1年生の頃
2 小学3・4年生の頃	5 中学2年生の頃	8 高校2年生になってから
3 小学5・6年生の頃	6 中学3年生の頃	9 わからない

問9 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。(○は1つ) ※塾や宿題をやる時間も含みます。

1 まったくしない	3 30分以上、1時間より少ない	5 2時間以上、3時間より少ない
2 30分より少ない	4 1時間以上、2時間より少ない	6 3時間以上

問10 あなたは、塾や予備校に通ったり、家庭教師に来てもらったりしていますか(オンラインも含む)。通って(来てもらっている場合、1週間に何日通って(来てもらって)いますか。両方やっている方は、合計した日数に○をつけてください。(○は1つ)

1 通って(来てもらって)いない	3 週に2日	5 週に4日	7 週に6日
2 週に1日	4 週に3日	6 週に5日	8 毎日



問11 あなたは今後、希望する進学先がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1 専門学校  
2 短期大学  
3 四年制大学  
4 大学院  
5 その他(具体的に )  
6 今後、進学したいとは思わない

問11-1 理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○、そのうち最も大きい理由には◎)

- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1 仕事をするのが自分には向いて<br>いると思う        | 5 進学のための費用が高い                 |
| 2 早くお金を稼ぎたい・経済的に自<br>立したい        | 6 自分の成績では行きたい学校に進学でき<br>そうにない |
| 3 やりたい仕事がある                      | 7 特に勉強したいことがない                |
| 4 高卒後すぐに進学しなくても進学<br>のチャンスはあると思う | 8 親や家族の面倒を見なければなら<br>ない       |
|                                  | 9 その他<br>(具体的に )              |

問11-2 今後、進学を希望する方にお聞きます。

問11で選択した学校のいずれかに進学する予定はありますか。いまの時点での見込みでかまいません。  
(○は1つ)

- 1 進学する予定である      2 進学する予定はない      3 わからない

問11-3 問11-2で「2 進学する予定はない」「3 わからない」を選んだ方にお聞きます。

その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |           |            |         |
|-----------|------------|---------|
| 1 経済的な理由  | 3 自分の健康    | 5 その他   |
| 2 学力面での不安 | 4 家族の介護や家事 | (具体的に ) |

問12 2020年4月から始まった高等教育の修学支援新制度(※)についてお聞きます。

※住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生を対象に、大学・短大・高等専門学校・専門学校の授業料  
等を免除し、奨学金を給付する制度です。

問12-1 高等教育の修学支援新制度について、知っていましたか。(○は1つ)

- 1 知っていた      2 知らなかった

問12-2 高等教育の修学支援新制度の利用を希望しますか。(○は1つ)

- 1 利用したい      2 利用したくない      3 未定      4 利用対象に該当しないと思う



問13 あなたは、学校の部(クラブ)活動に参加していますか。(○は1つ)

1 している

2 していない

問13-1 問13で「2 していない」と答えた人にお聞きします。

参加しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1 入りたい部(クラブ)がないから       | 5 費用がかかるから      |
| 2 家の事情(家族の世話、家事など)があるから | 6 一緒に入る友達がいないから |
| 3 塾・予備校や習い事が忙しいから       | 7 その他           |
| 4 アルバイトなど仕事が忙しいから       | (具体的に )         |

問14 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	よく あった	時々 あった	あまり なかった	なかった	わから ない
A 1年間の合計で30日以上学校を休んだ(病気の時をのぞく) →	1	2	3	4	5
B いじめられた →	1	2	3	4	5
C 夜遅く(23時以降)家の外で子どもだけで遊んだ →	1	2	3	4	5

問14-1 「よくあった」または、「時々あった」と答えた人にお聞きします。

そのようなことがあった時期はいつですか。(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

A 1年間の合計で30日以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)	B いじめられた	C 夜遅く(23時以降)家の外で子どもだけで遊んだ
1 小学1~3年生のころ	1 小学1~3年生のころ	1 小学1~3年生のころ
2 小学4~6年生のころ	2 小学4~6年生のころ	2 小学4~6年生のころ
3 中学1~3年生のころ	3 中学1~3年生のころ	3 中学1~3年生のころ
4 昨年度(昨年4月~今年3月)	4 昨年度(昨年4月~今年3月)	4 昨年度(昨年4月~今年3月)
5 今年4月から現在	5 今年4月から現在	5 今年4月から現在



# あなたの生活について

問15 あなたは、以下の活動をふだんどれくらいしますか。(それぞれ、○は1つ)

	毎日 4時間 以上	毎日 2~4 時間	毎日 1~2 時間	毎日 1時間 以下	1週間 に 4~5日	1週間 に 2~3日	1週間 に 1日	ぜんぜん しない
A ゲーム(ゲーム機、ウェブ等)をする →	1	2	3	4	5	6	7	8
B SNS (Instagram、TikTokなど)を見たり、書き込んだりする →	1	2	3	4	5	6	7	8
C テレビやインターネット(YouTubeなど)を観る →	1	2	3	4	5	6	7	8
D SNS(LINE、X(旧 Twitter)、Instagramなど)などによる他者とのやりとり →	1	2	3	4	5	6	7	8
E 家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど) →	1	2	3	4	5	6	7	8
F 弟や妹の世話 →	1	2	3	4	5	6	7	8
G 父母・祖父祖母など家族の介護・看病 →	1	2	3	4	5	6	7	8
H 家族の通訳や手続きの手伝い →	1	2	3	4	5	6	7	8

問16 あなたは、以下のことからについて、どう思いますか。(それぞれ、○は1つ)

	とても そう思う	そう思う	だいたい そう思う	少し そう思う	そう 思わない	わからな い
A 家族は私のことを大事に思ってくれている →	1	2	3	4	5	6
B もし何か問題があったら、家族は私を助けてくれる →	1	2	3	4	5	6
C 家族と一緒にいるのは楽しい →	1	2	3	4	5	6
D 家にいると安心する →	1	2	3	4	5	6
E 親は私の意見を尊重してくれる →	1	2	3	4	5	6
F 私のことは、親と私が一緒に決める →	1	2	3	4	5	6

問17 あなたは、ちょっとした会話も含め、他の人とどれくらい話しますか。A~Pのそれぞれについて、電話、メール、LINEも含めて、最も近いものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)

	よく話す	ときどきは時々話す	あまり話さない	まったく話さない	該当する人はいない
A 親	1	2	3	4	5
B 兄弟姉妹	1	2	3	4	5
C 祖父母、叔父叔母など	1	2	3	4	5
D 担任の先生	1	2	3	4	5
E 部活の先生・コーチ	1	2	3	4	5
F スクールカウンセラー・ スクール(ユース)ソーシャルワーカー	1	2	3	4	5
G 友人	1	2	3	4	5
H 先輩・後輩	1	2	3	4	5
I SNSを通じて知り合った人	1	2	3	4	5
J 近所の人や町内会の人	1	2	3	4	5
K 児童館職員	1	2	3	4	5
L 青少年交流センター職員	1	2	3	4	5
M 塾や習い事の先生など	1	2	3	4	5
N 子ども食堂や無料学習支援事業 の人	1	2	3	4	5
O コンビニの店員さんなど	1	2	3	4	5
P その他(具体的に )	1	2	3	4	5

問17-1 あなたに困ったことや、悩んでいることがある時、そのことを誰かに話しますか。(○は1つ)

1 話さない	2 話す
--------	------

問17-2 困ったこと・悩んでいることを話す相手の人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

A 親 B 兄弟姉妹 C 祖父母、叔父叔母など D 担任の先生 E 部活の先生・コーチ F スクールカウンセラー・スクール(ユース) ソーシャルワーカー G 友人 H 先輩・後輩	I SNSを通じて知り合った人 J 近所の人や町内会の人 K 児童館職員 L 青少年交流センター職員 M 塾や習い事の先生など N 子ども食堂や無料学習支援事業の人 O コンビニの店員さんなど P その他(具体的に )
---	--

## 食事のことにについて

問18 あなたは、平日(学校や仕事に行く日)に、一日3食を食べますか。(〇は1つ)

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 ほぼ毎日3食食べる | 2 ほぼ毎日2食食べる | 3 ほぼ毎日1食食べる |
|-------------|-------------|-------------|

問19 あなたは、次の食品を少なくとも1日に1回は食べていますか。1日に1回は食べているものすべてに〇をつけてください。(あてはまる番号すべてに〇)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1 肉、魚、卵などの動物性たんぱく質 | 4 果物                 |
| 2 野菜               | 5 牛乳・ヨーグルト・チーズなどの乳製品 |
| 3 大豆・小麦などの植物性たんぱく質 |                      |

## 健康のことにについて

問20 あなたの健康状態についてお聞きします。最も近いものに〇をつけてください。(〇は1つ)

- |        |        |           |
|--------|--------|-----------|
| 1 よい   | 3 ふつう  | 4 あまりよくない |
| 2 まあよい | 5 よくない |           |

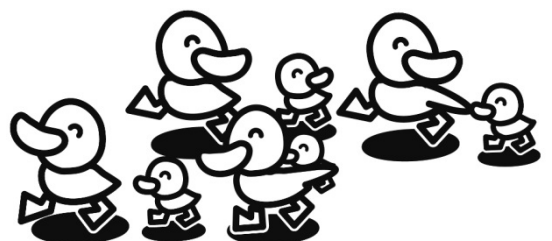
問21 あなたは、自分が必要と思うときに、医者または歯医者にかかることができますか。健診も含めてお答えください。(〇は1つ)

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1 いつでもできる                 | 4 できないことがある(その他の理由により) |
| 2 できないことがある(経済的理由により)     | 5 医者にかかる必要を感じたことはない    |
| 3 できないことがある(健康保険に加入していない) |                        |

## アルバイトなどの仕事について

問22 あなたは、現在、働いていますか。(あてはまる番号すべてに〇)

- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 1 働いている(アルバイト・パートタイム・派遣・日雇い・正社員) |  |
| 2 家業の手伝い                         |  |
| 3 家事(家族の育児・介護含む)手伝い              |  |
| 4 その他の働き方(具体的に )                 |  |
| 5 働いていない ⇒5を選んだ方は、問24にお進みください。   |  |



問22-1～問23は、問22で1～4とお答えになった方(働いている方)にお聞きします。

\*問22で5を選んだ方(働いていない方)は問24へお進みください。

問22-1 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方にお聞きします。

あなたの現在の仕事の雇用形態を教えてください。複数のお仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。(〇は1つ)

1 正社員	6 自営業の手伝い
2 派遣社員・契約社員	7 フリーランス・個人業務請負(ウーバーイーツの配達人など)
3 アルバイト・パートタイム	8 内職
4 日雇い(日雇い派遣含む)	9 その他
5 自営業	(具体的に)

注:「個人業務請負」は、ウーバーイーツの配達人など、労働契約ではなく個人で企業と請負契約を結び、仕事をする場合を指しています。

問22-2 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方にお聞きします。

アルバイトや仕事をするのはどのような時ですか。(〇は1つ)

1 年間を通していつでも
2 長期休暇期間など、時間に余裕があるとき
3 単発の仕事で、タイミングがあったとき

問22-3 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方にお聞きします。

その仕事から、平均して毎月どれぐらいの収入(手取り)がありますか。(枠内に数字で回答してください)

1か月あたり平均 約   方  千円

問22-4 学校がある日(月～金)の平均的な勤務日数と1日あたりの勤務時間について教えてください。

(それぞれ、〇は1つ)

A 勤務日数	1 1日	3 3日	5 5日
	2 2日	4 4日	6 学校がある日は働いていない
B 勤務時間 (Aで1～5を選んだ方)	1 4時間未満	3 5～6時間未満	5 7時間以上
	2 4～5時間未満	4 6～7時間未満	

問22-5 学校が休みの日(土・日)の平均的な勤務日数と1日あたりの勤務時間について教えてください。

(それぞれ、〇は1つ)

A 勤務日数	1 1日	2 2日	3 学校が休みの日は働いていない
B 勤務時間 (Aで1～2を選んだ方)	1 4時間未満	3 5～6時間未満	5 7時間以上
	2 4～5時間未満	4 6～7時間未満	

問22-6 あなたが、ふだん働いている時間帯は、次のどれにあたりますか。(あてはまる番号すべてに○)

1	早朝(5時~8時)	3	午後(正午~18時)	5	夜間(20時~24時)
2	午前(8時~正午)	4	夜間(18時~20時)	6	深夜(24時~翌5時)

問22-7 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方にお聞きします。

アルバイトや仕事で稼いだお金は何に使っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1	家計の足し	7	部活動の費用
2	通学のための交通費	8	塾の費用
3	修学旅行などの学校行事費	9	進学のための費用
4	学校の昼食代	10	友だちと遊ぶ費用
5	学用品(文具など)	11	携帯・スマートフォン代
6	現在の学費(授業料や学校納付金)	12	その他(具体的に)

問22-8 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方にお聞きします。

あなたは現在、生活費を、同居または別居の家族に渡していますか。平均の月額をお書きください。

(渡していない場合は「0」)。(枠内に数字で回答してください)

1か月あたり平均 約 

--	--	--	--	--	--

 円

問23 あなたは、これまでに職場で以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 1  | 長時間労働を日常的に強いられる            |
| 2  | 休憩時間をとらせてもらえないことがある        |
| 3  | あらかじめ定められた休日に休めない          |
| 4  | 勝手にシフトをいれられる               |
| 5  | 直前まで勤務スケジュールがわからない         |
| 6  | 短期間で辞めていく人が多い              |
| 7  | 上司から不当な扱い(パワーハラスメント)を受ける   |
| 8  | セクハラ被害にあったことがある            |
| 9  | 暴言・暴力を受けたことがある             |
| 10 | 職場で暴力・暴言が放置されている           |
| 11 | 仕事により心身の健康を害した             |
| 12 | 求人や面接のときに示された労働条件と実際の条件が違う |
| 13 | 普通の努力では達成不可能なノルマが課せられる     |
| 14 | 辞めたいと言っても辞めさせてもらえない        |
| 15 | 無理やり辞めさせられそうになった(辞めさせられた)  |
| 16 | その他の嫌な経験をした(具体的に)          |
| 17 | 特に嫌な経験をしたことがない             |

## あなたが普段考 えていることについて

問24 以下のA~Iの意見について、あなたはどのように思いますか。それぞれあなたの考 えに最も近いものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)

	とてもそう思う	そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
A 頑張れば、むくわれる →	1	2	3	4
B 自分は価値のある人間だと思う →	1	2	3	4
C 自分は家族に大事にされている →	1	2	3	4
D 自分は友達に好かれている →	1	2	3	4
E 不安に感じることはない →	1	2	3	4
F 孤独を感じることはない →	1	2	3	4
G 自分の将来が楽しみだ →	1	2	3	4
H 毎日の生活が楽しい →	1	2	3	4
I 自分のことが好きだ →	1	2	3	4

問25 次のA~Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(それぞれ、○は1つ)

	いつも	たいてい	ときどき	すこ しだけ	まった 全くない
A 神経過敏に感じましたか →	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか →	1	2	3	4	5
C そわそわ、落ち着かなく感じましたか →	1	2	3	4	5
D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が 晴れないように感じましたか →	1	2	3	4	5
E 何をするのも骨折れだと感じましたか →	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか →	1	2	3	4	5

問26 あなたは今までに、以下の1~8のようなことがありましたか。(あてはまる番号すべてに○)

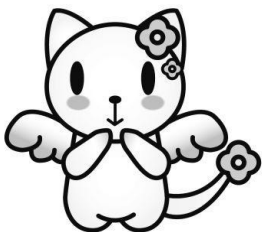
- 1 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある。
- 2 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがするほど強くなぐられたことが一度でもある。
- 3 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある。
- 4 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある。
- 5 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある。
- 6 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある。または、くり返しなくられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある。
- 7 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる。
- 8 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人が、または自殺しようとした人がいる
- 9 上記のような経験は、したことがない

問27 あなたは、(1) 以下のような場所やサービスを使ってみたことがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

(2) また、利用したことがある人も、ない人も、今後、機会があれば利用したいと思いませんか。

(「はい」か「いいえ」のどちらかに○)

	(1) 利用したことがあるか					(2) 機会があれば利用したいか
	利用したことがある	利用したことがない				
		利用したことがない 思わなかった	分わ 利用 の仕 方が な か つ た	全 く 知 ら な か つ た  こ れ に つ い て		
A 子ども食堂 →	1	2	3	4	→	はい いいえ
B 無料学習支援 →	1	2	3	4	→	はい いいえ
C 青少年交流センター →	1	2	3	4	→	はい いいえ
D 児童館 →	1	2	3	4	→	はい いいえ
E せたホッと ※困った時やつらい時に 電話やメールなどで相談 できるところ(無料) →	1	2	3	4	→	はい いいえ



せたホッとのマスコットキャラクター「なちゅ」です。  
みなさん、知っていましたか。  
せたホッとのこと、アンケートの最後のページに詳しく書いてあります。

問28 あなたは、以下のような場所やサービスがあれば使ってみたいと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要がない
A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所 →	1	2	3	4
B (家以外で) 休日にいることができる場所 →	1	2	3	4
C 学校における無料の給食サービス →	1	2	3	4
D 夕ご飯を同世代と食べるのでできる場所 →	1	2	3	4
E 食料品が無料でもらえる場所 →	1	2	3	4
F 子どもが自由に集まり、活動できる場所 →	1	2	3	4
G (学校以外で) 進路や勉強、家族のことなどなんでも気軽に相談できる場所 →	1	2	3	4
H 低額・無料で、通信教育が受けられるサービス →	1	2	3	4
I 家から出て学校に通うことができる低額・無料の寮 →	1	2	3	4

問29 あなたが、世田谷区になんでも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。なんでもいいので、お書きください。

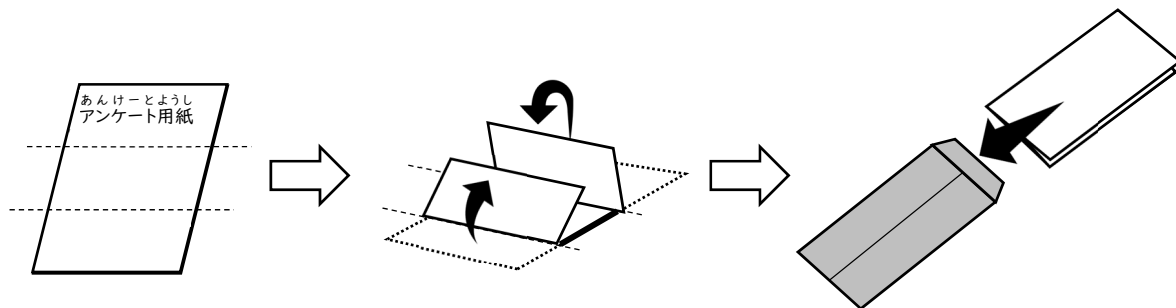


問30 あなたが今、一番困っていることは何ですか。ご自由にお書きください。

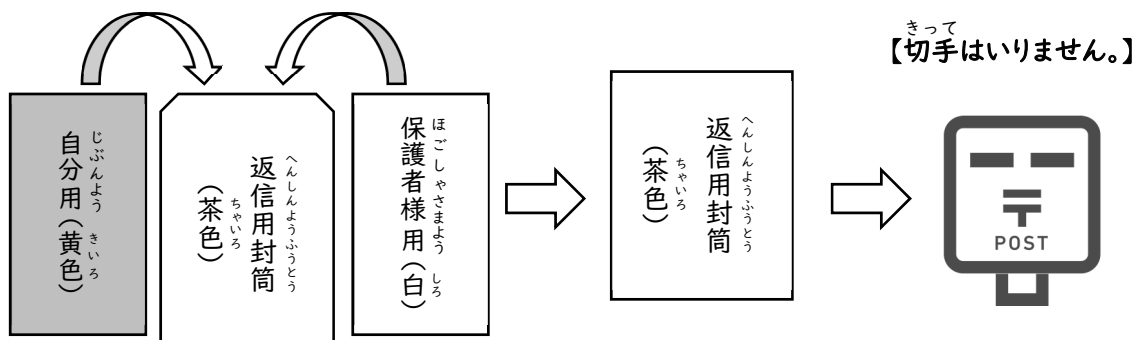
これで質問はおわりです。ご協力ありがとうございました。

かいとう あんけーと そうふほうほう  
**回答したアンケートの送付方法**

① みなさんが自分で書いたアンケートは、黄色のたて長の封筒に3つに折って入れて、閉じてください。



② 保護者の方が回答したアンケートが入っている白いたて長の封筒と2つ一緒に、返信用の茶色の大きな封筒に入れ、封をします。切手を貼らずに、郵便ポストに入れてください。



## 「せたホツと」

「せたホツと」は、世田谷区に住んでいる、または、学校、仕事で通っている  
18歳未満の人の人権をまもるところです。困ったとき、つらい・イヤだと感じたときは、  
「せたホツと」に話してみませんか。電話でも、メールでも無料で相談できます。

電話：0120-810-293 (無料) FAX：03-3439-6777

メールでも相談できます。



直接会って、お話もできます。

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mobile/inquiry/mailform999992.html>



相談時間：月曜日～金曜日（午後1時～午後8時まで）

土曜日（午前10時～午後6時まで）

※ 祝・休日、年末年始を除く

ますこつときやらくたー  
マスコットキャラクター なちゅ

## 高等教育の就学支援新制度

（授業料等の減免と給付型奨学金）

2020年4月から新制度がスタートしています！

【対象となる学校】 大学・短期大学・高等専門学校（4・5年）・専門学校

【対象】 住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生

授業料・入学金の

免除/減免



給付型奨学金の

支給

詳しい情報は文部科学省の特設サイト「高等学校の就学支援新制度」をご覧ください。

<https://www.mext.go.jp/kyufu/student/koukou.html>



学びたい気持ち  
を応援します

せたがやくれいわ ねんど こ せいかつじったいちょうさ  
**世田谷区令和5年度子どもの生活実態調査**  
 ほごしゃひょう  
**(保護者票)**

~子ども・子育て施策をより良くするために、  
 みなさんの生活について教えてください~

ご記入にあたっての**ご注意**

- このアンケートは、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がお答えください。
- 名前を書く必要はありません。調査の回答は統計的に処理し、個人を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。
- 答えたくない質問には、無回答のまま、次の質問に進んでください。
- 双子などで、このアンケートが複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについてそれぞれのアンケートに回答してください。
- 答えは当てはまる番号に○をするか、数字や文章で書いてください。
- 日本語以外の言葉をよく使われている方にも読みやすいよう、ふりがなをつけています。
- パソコン・スマートフォンでも回答ができます。以下のURLか、右側の二次元コードからアクセスして、回答してください。



URL : <https://rsch.jp/ca6c2298050f7b38/login.php>

アンケートサイトのはじめの画面で、右上のIDを入力してください。

このアンケートは、世田谷区の委託を受けて、株式会社富士通総研が実施しています。

・アンケートの質問が分からないときや、どう答えたらよいのか分からないときは、下記までご連絡ください。

株式会社富士通総研 03-6424-6756 (平日10時から18時)

・調査の実施についてのお問い合わせ、ご意見などは、下記までご連絡ください。

世田谷区子ども・若者部子ども家庭課 03-5432-2406 (平日8時半~17時15分)

このアンケートのなかの「お子さん」とは、封筒の宛名のお子さんを指します。

**あなたのこと、あなたの世帯のことについて**

問1 お子さんとあなた(回答者)との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。

(○は1つ)

1	父親	3	祖父	5	兄弟姉妹	6	その他(具体的に)
2	母親	4	祖母	7	施設職員・里親		

⇒施設職員の方は以後の設問に対して、回答できる範囲で回答してください

問2 あなたの年齢を教えてください。(枠内に数字で回答)

		さい 歳
--	--	---------

問3 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(〇は1つ)

1 結婚している(事実婚を含む)	3 死別
2 離婚(別居中を含む)	4 未婚・非婚

問4 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください(あなたとお子さんも含む)。

ただし、別居であっても、生計が同じ家族(単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど)も含みます。

(枠内に数字で回答)

	人
--	---

問5 お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

複数いる場合は、人数も教えてください。ただし、別居であっても、生計が同じ家族(単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど)も含みます。宛名のお子さんは含みません。(あてはまる番号すべてに〇をした上で、枠内に数字で回答)

1 父親		5 兄弟姉妹		人
2 母親		6 その他の親せき		人
3 祖父		7 その他		
4 祖母		(具体的に)		人

問6 宛名のお子さんを含めて、お子さんの現在の年齢を教えてください。(枠内に数字で回答)

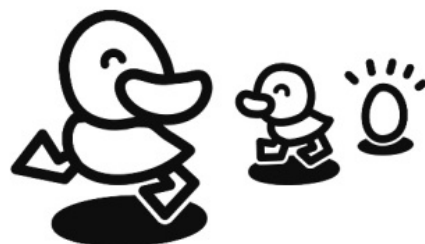
1 1人目		歳	5 5人目(いらっしゃる場合)		歳
2 2人目(いらっしゃる場合)		歳	6 6人目(いらっしゃる場合)		歳
3 3人目(いらっしゃる場合)		歳	7 7人目(いらっしゃる場合)		歳
4 4人目(いらっしゃる場合)		歳	8 8人目(いらっしゃる場合)		歳

問7 宛名のお子さんを含め、お子さんの中に以下にあてはまるお子さんがいますか。(あてはまる番号すべてに〇)

1 身体障害者手帳をもっている子どもがいる	5 発達に特性のある子どもがいる(診断あり)
2 療育手帳(愛の手帳)をもっている子どもがいる	6 診断はないが、発達に特性のある子どもがいる
3 精神障害者手帳をもっている子どもがいる	7 いない
4 小児慢性特定疾病医療受給者証をもっている子どもがいる	

問8 お子さんと同居している大人の家族の中に、高齢・障害または病気などによって、介護や看護が必要な方はいますか。(〇は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------



問9 お子さんのお母さま、お父さまの国籍にあてはまる番号を、それぞれ教えてください。(〇は1つ)

お母さま	1 日本	2 日本以外
お父さま	1 日本	2 日本以外

問9-1 問9で「2日本以外」を選んだ方にお聞きます。

家のなかで話している主な言語を教えてください。(〇は1つ)

1 日本語	2 日本語以外(具体的に )
-------	----------------

問10 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。(〇は1つ)

1 持ち家	4 都市再生機構(U・R)・公社などの賃貸住宅
2 民間の賃貸住宅	5 給与住宅(社宅・公務員住宅など)
3 都営または市営(区営)の賃貸住宅	6 間借り・その他

問11 1か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額、賃貸の場合は、家賃または間代および共益費または管理費(共用部分の電気料・清掃費など)を教えてください。(枠内に数字で回答)

※住居費の負担がない場合は0とご記入ください。

A 持ち家 (問10で「1」を選んだ方)	1か月あたりの住宅ローン返済額	円
B 賃貸住宅 (問10で「2」～「6」を選んだ方)	家賃・間代(共益費・管理費)を含む	円



# お子さんのお母さまとお父さまの職業について

問12 お子さんのお母さまとお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。お子さんのお母さま、お父さまがいない場合は、問15にお進みください。(それぞれ、あてはまる番号1つを口を書いてください)

1 会社役員	6 自営業(家族従業者を含む)	11 専業主婦
2 民間企業の正社員	7 自由業	12 学生
3 公務員などの正職員	8 団体職員	13 引退(退職)
4 契約社員・派遣社員・嘱託社員	9 その他の働き方をしている	14 その他の無職
5 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	10 個人業務請負(※)	15 わからない

問13へ

(※「個人業務請負」は、ワーバーイーツの配達人など、労働契約ではなく個人で企業と請負契約を結び、仕事をする場合を指しています。)

お母さまとお父さまの職業 (問12の「1」～「15」をそれぞれ記入)	お母さまの職業		お父さまの職業	
---------------------------------------	---------	--	---------	--

問12-1 問12で「1」～「10」を選んだ職業をおもちの方にお聞きします。

1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。(枠内に数字で回答)

※複数のお仕事をもっていらっしゃる場合は合算してください。

お母さま 週に平均  時間      お父さま 週に平均  時間

問12-2 問12で「1」～「10」を選んだ職業をおもちの方にお聞きします。

昨年1年間(令和4(2022)年1月～12月)を合計したお仕事からの収入(税込)は、およそいくらですか。(枠内に数字で回答)

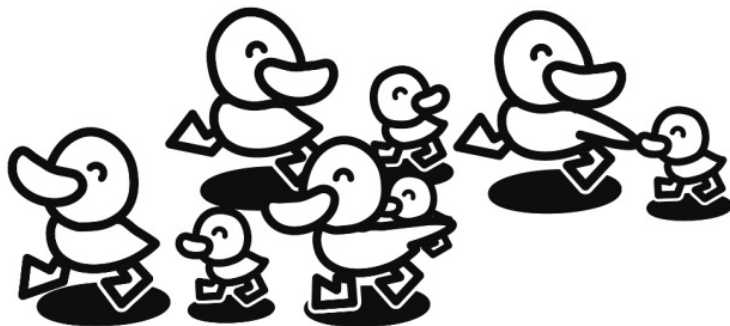
※収入なしの場合には、0をご記入ください。

お母さま 税込  万円      お父さま 税込  万円

問12-3 問12で「1」～「10」を選んだ職業をおもちの方にお聞きします。

平日の日中以外の勤務がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

	早朝 (5～8時)	夜勤 (20～22時)	深夜 (22～5時)	土曜出勤	日曜・ 祝日出勤	左記の勤務は ない
お母さま	1	2	3	4	5	6
お父さま	1	2	3	4	5	6



新型しんがたコロナころウイルスなう感染症いるすかんせんしょうによるかていえいきょうようあなたのご家庭へのえいきょうについて

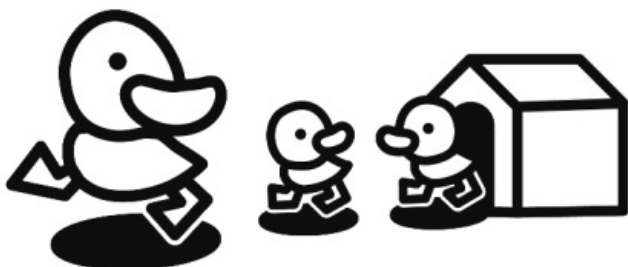
問13 新型しんがたコロナころウイルスなう感染症いるすかんせんしょうかくくだいまえれいわねんがついぜんくらこお子さんのお母さまとお父さまは、以下いかかのようなことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

	転職した	仕事を辞めた	労働時間の減少	労働時間の増加	収入の減少	収入の増加	時間外(夜間・週末など)労働の増加	テレワークの増加	どれも経験していない
お母さま	1	2	3	4	5	6	7	8	9
お父さま	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問14 新型しんがたコロナころウイルスなう感染症いるすかんせんしょうかくくだいまえれいわねんがついぜんくらこお子さんのお母さまとお父さまの(1)収入と(2)労働時間はどのように変わりましたか。現在(令和5(2023)年9月)の状況について、お答えください。(それぞれ、○は1つ)

		10割減	5割以上減	2〜3割減	1割減	変わらない	1割増	2〜3割増	5割以上増
(1) 収入	お母さま	1	2	3	4	5	6	7	8
	お父さま	1	2	3	4	5	6	7	8

		10割減	5割以上減	2〜3割減	1割減	変わらない	1割増	2〜3割増	5割以上増
(2) 労働時間(テレワーク含む)	お母さま	1	2	3	4	5	6	7	8
	お父さま	1	2	3	4	5	6	7	8



# お子さんの健康状態について

問15 お子さんの健康状態について最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1 よい	3 ふつう	4 あまりよくない
2 まあよい		5 よくない

問16 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(○は1つ)

1 なかった	2 あった
--------	-------

問16-1 問16で「2 あった」を選んだ方にお聞きします。

その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- 1 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 2 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- 3 子ども本人が受診しなかったため
- 4 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- 5 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 6 自分の健康状態が悪かったため
- 7 その他(具体的に )

# あなた(回答者)について

問17 あなたの健康状態についてお聞きします。(○は1つ)

1 よい	3 ふつう	4 あまりよくない
2 まあよい		5 よくない

問18 次のA~Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(それぞれ、○は1つ)

		いつも	たいてい	ときどき	すこ しだけ	まった 全くない
A 神経過敏に感じましたか	→	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか	→	1	2	3	4	5
C そろそろ、落ち着かなく感じましたか	→	1	2	3	4	5
D 気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じましたか	→	1	2	3	4	5
E 何をするのも骨折りだと感じましたか	→	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか	→	1	2	3	4	5



問19 あなた自身には、自分が持っている(できる)以下のものがありますか。「ある(できる)」、「金銭的にできない」「必要でない(いらぬ)」のうち最もあてはまるものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)

		ある (できる)	ない(できない)		
			金銭的に できない	必要でない (いらぬ)	
A	自分自身のために使うことができるお金(月5000円)	→	1	2	3
B	最低2足の靴	→	1	2	3
C	古くなった服を買い替える	→	1	2	3
D	友人や家族と1カ月に1回ほど外食する	→	1	2	3
E	自宅で自分が使えるインターネット環境	→	1	2	3
F	自分の趣味やレジャーのためのお金	→	1	2	3

問20 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人(家族、友人、親戚、同僚など)がいますか。(○は1つ)

1	いる	2	いない
---	----	---	-----

### お子さんの進路について

問21 お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)

		受けさせたい	経済的に可能だが 受けさせたくない	経済的に 受けさせられない	まだわからない	
A	高校まで	→	1	2	3	4
B	専門学校まで	→	1	2	3	4
C	短期大学まで	→	1	2	3	4
D	四年制大学まで	→	1	2	3	4
E	大学院まで	→	1	2	3	4

問22 2020年4月から始まった高等教育の修学支援新制度(※)についてお聞きます。  
 ※住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生を対象に、大学・短大・高等専門学校・専門学校の授業料等を免除し、奨学金を給付する制度です。

問22-1 高等教育の修学支援新制度について、知っていましたか。(○は1つ)

1	知っていた	2	知らなかった
---	-------	---	--------

問22-2 高等教育の修学支援新制度の利用を希望しますか。(○は1つ)

1	利用したい	2	利用したくない	3	未定	4	利用対象に該当しないと思う
---	-------	---	---------	---	----	---	---------------



## お子さんこにしていることについて

問23 過去1年間かこねんかんにおいて、あなたのご家庭かていでは、お子さんこと次つぎのような体験たいけんをしましたか。(それぞれ、○は1つ)

		ある	ない			
			金銭的 <small>きんせんてき</small> な理由 <small>りゆう</small> で	時間 <small>じかん</small> の制約 <small>せいやく</small> で	その他 <small>た</small> の理由 <small>りゆう</small> で	
A	海水浴 <small>かいすいよく</small> に行く	→	1	2	3	4
B	博物館 <small>はくぶつかん</small> ・科学館 <small>かがくかん</small> ・美術館 <small>びじゆつかん</small> などに行く	→	1	2	3	4
C	キャンプ <small>きゃんぷ</small> やバーベキュー <small>ばーべきゅー</small> に行く	→	1	2	3	4
D	スポーツ観戦 <small>すぽーつかんせん</small> や劇場 <small>げきじやう</small> に行く	→	1	2	3	4
E	遊園地 <small>ゆうえんち</small> やテーマパーク <small>てーまぱーく</small> に行く	→	1	2	3	4

問24 あなたのご家庭かていでは、お子さんこに次つぎのことをしていますか。A~Jについて、「している」「していない、したくない(方針ほうしんでしない)」「していない、経済的けいざいてきにできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)

		→	している	していない	
				したくない(方針 <small>ほうしん</small> でしない)	経済的 <small>けいざいてき</small> にできない
A	毎月 <small>まいつき</small> お小遣い <small>こづかい</small> を渡す <small>わたす</small>	→	1	2	3
B	毎年 <small>まいとし</small> 新しい <small>あたら</small> (お古 <small>ふる</small> でない)洋服 <small>ようふく</small> ・靴 <small>くつ</small> を買う <small>か</small>	→	1	2	3
C	習い事 <small>ならごと</small> (音楽 <small>おんがく</small> 、スポーツ <small>すぽーつ</small> 、習字 <small>しゅうじ</small> など)に通わせる <small>かほ</small>	→	1	2	3
D	学習塾 <small>がくしゅうじゆく</small> に通わせる <small>かほ</small> (または家庭教師 <small>かていきょうし</small> に来てもらう、オンライン <small>おんらいん</small> 含む)	→	1	2	3
E	お誕生日 <small>たんじようび</small> のお祝い <small>いわ</small> をする	→	1	2	3
F	1年 <small>ねん</small> に1回 <small>かい</small> くらい家族旅行 <small>かぞくりよこう</small> に行く <small>い</small>	→	1	2	3
G	クリスマス <small>くりすます</small> のプレゼント <small>ぷれぜんと</small> や正月 <small>しょうがつ</small> のお年玉 <small>としだま</small> をあげる	→	1	2	3
H	修学旅行 <small>しゅうがくりよこう</small> などお金 <small>かね</small> がかかる学校 <small>がっこう</small> の活動 <small>かつどう</small>	→	1	2	3
I	パソコン <small>ぱそこん</small> かタブレット <small>たぶれっと</small> を与える <small>あた</small>	→	1	2	3
J	スマートフォン <small>すまーとふおん</small> を与える <small>あた</small>	→	1	2	3

問25 次つぎのものうち、経済的けいざいてきな理由りゆうのためあなたあなたの世帯せたいにないものはありますか。(あてはまる番号ばんごうすべてに○)

1	子ども <small>こ</small> の年齢 <small>ねんれい</small> にあった本 <small>ほん</small>	8	月に一度 <small>いちど</small> の友だち <small>とも</small> や家族 <small>かぞく</small> との外食 <small>がいしょく</small> の機会 <small>きかい</small>
2	子ども用 <small>こ</small> のスポーツ用品 <small>すぽーつようひん</small> ・おもちゃ	9	電話 <small>でんわ</small> (固定電話 <small>こていでんわ</small> ・携帯電話 <small>けいたいでんわ</small> を含む <small>ふく</small> )
3	子ども <small>こ</small> が自宅 <small>じたく</small> で宿題 <small>しゅくだい</small> をすることができる場所 <small>ばしょ</small>	10	インターネット <small>いんたーねっと</small> につながるパソコン <small>ぱそこん</small>
4	テレビ <small>てれび</small>	11	冷蔵庫 <small>れいぞうこ</small>
5	暖房器具 <small>だんぼうきぐ</small>	12	洗濯機 <small>せんたくき</small>
6	自家用車 <small>じかようしや</small>	13	急な出費 <small>きゆうしゅつび</small> のための貯金 <small>ちきん</small> (5万円 <small>まんえんいじゆう</small> 以上)
7	エアコン <small>えあこん</small>	14	あてはまるものはない

## 家計の状況について

問26 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。

(受給か非受給に○、受給の場合は枠内に金額を数字で回答)

※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。

※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含まれます。

※「児童手当」は15歳までのお子さんへの補助金です(所得制限あり)。「児童育成手当」「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親世帯等のための補助金です。

	受給の有無		金額(1か月あたり)	
	1 受給	2 非受給		円
A 児童手当 (中3までのお子さんがいる所得制限以下の 子育て世帯への給付)	1 受給	2 非受給	↓	
B 児童育成手当 (所得制限以下のひとり親世帯等への給付)	1 受給	2 非受給		
C 児童扶養手当 (所得制限以下のひとり親世帯等への給付)	1 受給	2 非受給		円
D 特別児童扶養手当 (障害のあるお子さんへの給付)	1 受給	2 非受給	1級	円
			2級	円
E 年金 (遺族年金、老齢年金など)	1 受給	2 非受給		円
F 生活保護	1 受給	2 非受給		円

問27 問26で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。お子さんと生計を共にしている世帯全員の方、おおよその年間収入(税込)はいくらですか。(○は1つ)

※収入には、勤労収入(パート、アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、問26で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。

※複数の収入源がある場合(お父さまが勤労収入、お母さまに事業収入など)は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

1 収入はない(0円)	6 300~400万円未満	11 800~900万円未満
2 1~50万円未満	7 400~500万円未満	12 900~1,000万円未満
3 50~100万円未満	8 500~600万円未満	13 1,000~1,500万円未満
4 100~200万円未満	9 600~700万円未満	14 1,500~2,000万円未満
5 200~300万円未満	10 700~800万円未満	15 わからない

問28 お子さんは、奨学金を受けましたか(受けていますか)。複数受けている場合は、直近のものをお聞きします。

(○は1つ)

1 給付型(返済の必要がない)の奨学金を受けた/受けている	
2 貸与型(将来返済の必要がある)の奨学金を受けた/受けている	
3 その他のタイプの奨学金を受けた/受けている(具体的に )	
4 奨学金は受けなかった/受けていない	

問28-1 「1 給付型の奨学金」または「2 貸与型の奨学金」を受けた(受けている)方にお聞きます。

お子さんが、受けていた(受けている)奨学金は、1か月あたりいくらですか。(枠内に数字で回答)

1 か月  円

## あなたのご家庭での生活について

問29 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(〇は1つ)

- |            |       |         |
|------------|-------|---------|
| 1 大変ゆとりがある | 3 ふつう | 4 やや苦しい |
| 2 ややゆとりがある |       | 5 大変苦しい |

問30 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(〇は1つ)

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 赤字であり、借金をして生活している  | 4 黒字であるが、貯蓄はしていない |
| 2 赤字であり、貯蓄を取り崩している   | 5 黒字であり、毎月貯蓄をしている |
| 3 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである | 6 その他(具体的に )      |

問31 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。

(〇は1つ)

- |         |           |          |            |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった | 3 まれにあった | 4 まったくなかった |
|---------|-----------|----------|------------|

問32 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。

(〇は1つ)

- |         |           |          |            |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった | 3 まれにあった | 4 まったくなかった |
|---------|-----------|----------|------------|

問33 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA~Hのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。

(それぞれ、〇は1つ)

		あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
A 電話料金	→	1	2	3
B 電気料金	→	1	2	3
C ガス料金	→	1	2	3
D 水道料金	→	1	2	3
E 家賃	→	1	2	3
F 住宅ローン	→	1	2	3
G 税金・社会保険料	→	1	2	3
H その他の債務	→	1	2	3

## お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験について

⇒回答者がお母さま・お父さまでない場合は問38にお進みください。

問34 お子さんのお母さま・お父さまが、最後に卒業した学校は次のどれですか。

(それぞれ、あてはまる番号1つを口を書いてください)

1	中学校	
2	高等学校(全日制)	
3	高等学校(定時制または通信制)	
4	高等専修学校(中学校卒業後に進む1~4年間の専修学校)	
5	高等専門学校(中学校卒業後に進む5年間の学校、高専)	
6	短期大学	
7	専門学校(高校卒業後に進む1~4年間程度の専修学校専門課程)	
8	大学	
9	大学院	
10	その他(具体的に	)
11	わからない	

お母さまとお父さまの最後に卒業した学校 (問34の「1」~「11」をそれぞれ記入)	お母さま		お父さま	
--	------	--	------	--

問35 あなたが15歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1 大変ゆとりがあった	3 ふつう	4 やや苦しかった
2 ややゆとりがあった		5 大変苦しかった

問36 あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 両親が離婚した	5 おやから暴力を振るわれた
2 親が生活保護を受けていた	6 育児放棄(ネグレクト)された
3 母親が亡くなった	7 1~6のいずれも経験したことがない
4 父親が亡くなった	

問37 あなたは、お子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 (元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある
2 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある
3 育児放棄(ネグレクト)になった時期がある
4 出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある
5 わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある
6 自殺を考えたことがある
7 1~6のいずれも経験したことがない

公的支援の利用状況について

問38 あなたのご家庭では、

- (1) 以下のA~Kの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)
- (2) (利用したことがある人にも、ない人にもお聞きします) 今後、利用することに興味がありますか。(それぞれ、○は1つ)

	(1) 利用したことがあるか								(2) 利用することに興味があるか
	利用したことがある	利用したことがない							
		利用したことがなかった	利用したいと思ったことがなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用できなかった	利用時間や制度等が使いづらかった	利用の仕方が分からなかった		
A 高等学校等就学支援金 (授業料支援)	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない
B 高校生等奨学給付金 (授業料以外の教育費支援)	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない
C 受験生チャレンジ支援貸付	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない
D 生活保護	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない
E 生活福祉資金貸付制度	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない
F こども食堂	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない
G フードバンク・フードパントリーによる食料支援	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない
H 学校以外が実施する無料学習支援	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない
I 発達障害に関する専門支援	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない

以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

J 児童扶養手当	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない
K 母子及び父子福祉資金	→	1	2	3	4	5	6	→	あるない

※支援制度等については、13ページの<参考>に一部、説明があります。

さんこう  
＜参考＞

<p>A 高等学校等就学支援金</p>	<p>国公立問わず、高等学校等に<u>通う所得等要件を満たす世帯の生徒</u>に対して、<u>授業料に充てるため、就学支援金を支給する制度</u>。</p>
<p>B 高校生等奨学給付金</p>	<p>所得が一定水準以下の世帯を対象に、<u>授業料以外の教育費（教科書費、教材費など）を支援する返還不要の給付金</u>。</p>
<p>C 受験生チャレンジ支援貸付</p>	<p>所得が一定水準以下の世帯を対象に、<u>高校・大学受験のときの塾の費用や受験料を無利子で貸付する制度</u>。高校・大学などに入学した場合、手続きをすると返す必要がなくなる。窓口は区<u>の社会福祉協議会（ぷらっとホーム世田谷）</u>。</p>
<p>D 生活保護</p>	<p>病気や失業などのため、<u>生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときは一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度</u>。窓口は区<u>の生活支援課</u>。</p>
<p>E 生活福祉資金貸付制度</p>	<p>所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、<u>低利または無利子の資金貸付</u>。窓口は区<u>の社会福祉協議会（ぷらっとホーム世田谷）</u>。</p>
<p>F 子ども食堂</p>	<p>子どもたちの食の支援、<u>居場所の支援等を目的に、民間団体などが無料または低額で食事を提供している場所</u>。</p>
<p>G フードバンク・フードパントリー</p>	<p>支援を必要とする人に対して<u>食料品を無料で提供する場所</u>。</p>
<p>J 児童扶養手当</p>	<p>所得が一定水準以下のひとり親世帯等の支援のための<u>補助金</u>。窓口は区の子ども家庭支援センター。</p>
<p>K 母子及び父子福祉資金</p>	<p>ひとり親世帯を対象にした、<u>低利または無利子の資金貸付</u>。窓口は区の子ども家庭支援センター。</p>

問39 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)

	相談したことがある	相談したことがない			
		思ったことがなかった	相談したいと抵抗感があつた	相談したかったが、使いつづらかつた	相談時間や場所などがわからなかつた
A 各総合支所子ども家庭支援センター →	1	2	3	4	5
B 各総合支所健康づくり課 →	1	2	3	4	5
C 各総合支所生活支援課 →	1	2	3	4	5
D 各総合支所保健福祉課 →	1	2	3	4	5
E 福祉の相談窓口(まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会) →	1	2	3	4	5
F ぶらっとホーム世田谷 →	1	2	3	4	5
G 世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」 →	1	2	3	4	5
H 教育相談室 →	1	2	3	4	5
I 不登校相談窓口(教育総合センター) →	1	2	3	4	5
J メルクマールせたがや →	1	2	3	4	5
K せたがや若者サポートステーション →	1	2	3	4	5
L 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど →	1	2	3	4	5
M 民生委員・児童委員 →	1	2	3	4	5
N ハローワーク →	1	2	3	4	5
O 上記以外の公的機関 →	1	2	3	4	5

※公的機関については、15ページの<参考>に一部、説明があります。



さんこう  
<参考>

A 各総合支所子ども家庭支援センター	母子・父子・女性相談、保育園入園相談、子育て総合相談、ひとり親の手当てなどのご相談をお受けします。
B 各総合支所健康づくり課	保健師等による妊娠、出産、育児、子どもの発育や発達、健康に関するご相談をお受けします。
C 各総合支所生活支援課	生活相談や生活保護に関するご相談をお受けします。
D 各総合支所保健福祉課	障害者（児）や高齢者への保健福祉サービスのご相談、介護保険のご相談・受付をお受けします。
E 福祉の相談窓口 (まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会)	家族の介護や子育て、病気や障害のお悩みや不安など、様々なご相談を身近な地区の窓口でお受けします。
F ぷらっとホームせたがや	仕事、お金、ココロとカラダのことなど、身の回りのいろいろな困りごとのご相談をお受けします。
G メルクマールせたがや	「うまく人と話せない」「家に居づらい」「孤独を感じる」「学校や会社に行きたくない」など、生きづらさを抱えている若者のご相談をお受けし、サポートします。
H せたがや若者サポートステーション	就労や将来のことなど、働く様々な悩みについてご相談をお受けします。

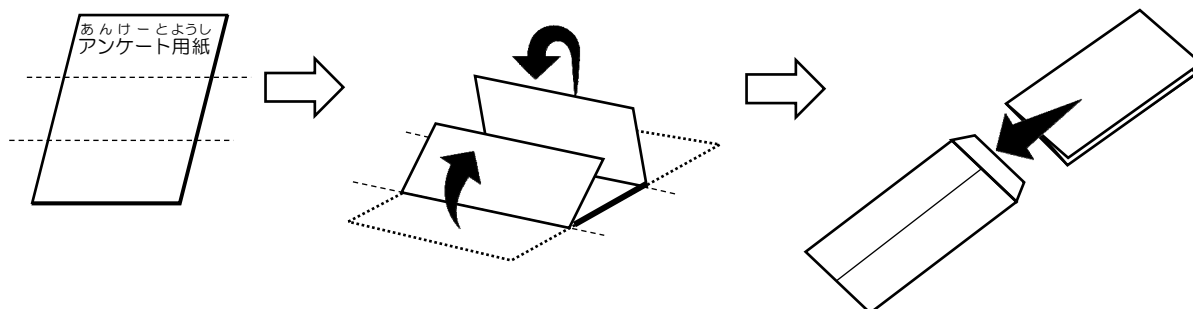
問40 制度や支援策について、せたがやくに要望や意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

問41 あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

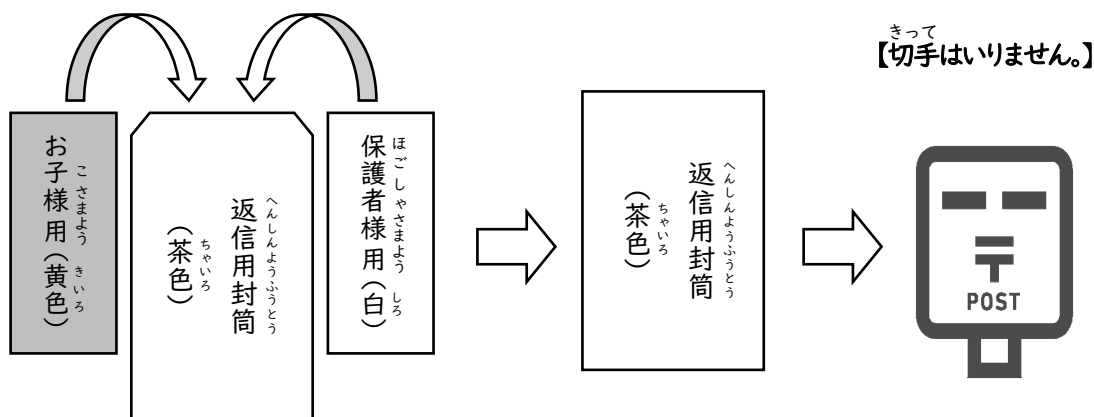
これで質問はおわりです。ご協力ありがとうございました。

かいとう あんけーと そうふほうほう  
**回答したアンケートの送付方法**

- ① お子様票は、ご本人が回答する様をお願いしています。  
 保護者様が回答したアンケート用紙は、3つ折りにして白い縦長の封筒に入れて、封をしてください。



- ② お子様回答したアンケートが入っている黄色のたて長の封筒と2つ一緒に、返信用の茶色の大きな封筒に入れ、封をします。切手を貼らずに、郵便ポストへ入れてください。



◆お役立ち情報◆

こうとうきょういく しゅうがくしえんしんせいど  
**高等教育の就学支援新制度**

じゆぎょうりょうとう げんめん きゅうふがたしょうがくきん  
**(授業料等の減免と給付型奨学金)**

2020年4月から新制度がスタートしています！

[対象となる学校] 大学・短期大学・高等専門学校(4・5年)・専門学校

[対象] 住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生

じゆぎょうりょう じゅうがくきん  
**授業料・入学金の  
 免除/減免**



きゅうふがたしょうがくきん  
**給付型奨学金の  
 支給**

学びたい気持ち  
 を応援します

詳しい情報は文部科学省の特設サイト「高等学校の就学支援新制度」をご覧ください。



<https://www.mext.go.jp/kyufu/student/koukou.html>